京城日報

（年中無休刊）
[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
振替京城三〇〇番

十月三日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

黑白人種戰熾烈

ネブラスカ州オマハに於ける暴動は益々火の手を昂め來れり一白婦人を辱めたる黑人ウヰリヤム・ブラウンなる者は遂に虐殺せられたり（此事件は今回の暴動の導火線なり）オマハ全市は目下黑白戰爭に依り保護せられ居れるも尙ほ黑白人の市街戰開始なく行はれ更に新なる大暴動勃發せんとするの形勢あり二十七日より戒嚴令布告せられウッド將軍は戒嚴司令官となれり今回の暴動は七月以來紐育附近なるも尙ほ今後も益々多くの人種戰起るべしと察せらる（紐育電報）

工賃値上決定

米國管船局は太平洋沿岸の造船所の賃金値上を討議することに決定したるが是れにて大同盟罷業は避け得らるべし（華盛頓電報）

ウ氏經過良好

大統領ウイルソン氏の容態は引續き良好なり（華盛頓電報）

對日本產大豆課稅法案

華盛頓來電＝米國下院に於る歳計委員會は日本產の大豆が亞米利加產大豆と競爭することを防止する爲め一封度に對し二仙の關稅を賦課すべく十月十三日同法案を審議することに決定の筈なりと（紐育電報）

フ港領有確認案

羅馬來電＝伊國議會は喧擾を極めたる討議の後フユーメを伊太利に與ふべきことを確認する決議案を可決したり（巴里電報）

伊太利議會解散

伊太利下院は解散を命ぜられ總選擧期日は十一月十六日と定められたるが議會は十二月一日を以て開會せらるべし（羅馬電報）

米艦隊歡迎決議

海軍部は米國艦隊近く來航せば是れを歡迎すべく既に國務會議の決議を經たり一部支那人は米國艦隊の來着を機とし更に親米排日の氣勢を昂めんと計畫中なりと傳へらる（北京電報）

和議斡旋無效

徐總統の內命を受けて和議斡旋の爲め上海に赴きたる許世英氏は此の程歸京せるが同氏の上海に於ける任務は主として政學會派との疎通に在りしが遂に何程の結果をも齎し得ざりしが如し（北京電報）

庫倫援軍要求

庫倫駐在大員陳毅より政府に向け過激派の庫倫一帶地方侵入の情況に就き報告し且つ援兵の派遣を要求し來れるより政府は善後策に就き協議をして之が對策を講ぜしめつゝあり（北京電報）

英軍隊歸還

西伯利に出動し居りたる英國軍隊は哈爾賓經由にて續々浦鹽に向け歸還の途に就きつゝありと（哈爾賓電報）

通貨十一億圓

十月一日の[illegible]銀行券は左の如し

發行高	一一六五、〇八六千圓
正貨準備	七九二、五四一
限外發行	一二五、五四五
貸出高	四三四、七八

比律賓下院議長

[illegible]日朝釜山入港連絡船にて比律賓下院議長オスメニヤ氏夫妻、同國防軍少佐メーヒス氏夫妻、[illegible]同秘書サンオクトル氏[illegible]

其の他一行十二名は上陸總督府分村通譯官、東拓石橋監定課長等の出迎へを受け直ちに十時急行列車にて北行したるが一行は京城に二日間滯在夫れより滿洲支那方面を視察の上歸國すべしと（釜山特電）

物價問題研究

◎戰爭勃發當初に比較して現今の生活費は米合衆國にあつては十割二分加奈陀にては十割七分英國にては三割三分佛國にては二十割の騰貴を示せる由なるが本邦にては物價騰貴の調査は種々雜多にて其信ずるに足るべきもののなきを遺憾とし世人の最も熟知せる米價騰貴率に依つて生活費の昂騰を察知するは最も簡にして適切ならん

◎一昨大正六年春頃には白米一升二十錢以下なりしに今日六十錢近くとなり米價安に苦しみし反對に今日米價高を愁訴せるは食料品が世界的缺乏に依るも殊に其騰貴率の顯著ならしむるは三倍ばかり食糧品以上の騰貴を示せるもの綿糸綿織物毛斯綸皮革等枚擧に遑あらざれば本邦諸物價の既して戰前に比すれば彼國と殆ど同樣なる三倍の騰貴率を示せり、其主要なる原因は果して何れに在るやを講究することゝせん

◎今一例を擧げて說明せんに假りに一軒の家を建築すべく請負師をして見積らしむれば八千圓以上を要すとの言に喫驚し戰前に於ては五千圓にて十分なりしに其何故なるやを抗議せしに請負師は建築費の昂騰は已むを得ざる所にして使用する材料は悉く騰貴し勞銀は倍額となりしに基因せりと答へたり

◎是に於て建築材料たるセメント屋材木屋及び煉瓦屋等に就て一々研究するも請負師と同一事なる物價騰貴を說明せるが畢竟戰前に比して現在貨幣の流通が激增して貨幣其物が最早戰前と同等の價値を維持し能はざるの所以なり

◎通貨の膨脹は戰前に比して二倍以上となり吾人の通貨を受取ること二倍となるも支出に於て同じく二倍の金額を要し世人一般に多額の貨幣を取扱ふに至れり事實上現在一圓の買物は戰前に於ける買物の半分に充たず世人未だ物價の新しき水平線に慣れざるが騰貴せる物價と調和を取らんとせば戰前に得たる所得の二倍以上を收得するの必要を生ぜり物價騰貴の責任は果して何れに歸すべきか（大阪だより）

經學院講士招待

齋藤總督は三日午後四時より總督官邸に晩餐會を催し經學院副提學以下各講士を招待すべし

不渡手形增加

九月中に百餘枚

九月中に於ける京城不渡手形は鮮商忠成者、打撃銀行貸出の緊縮等にて布木商を主とし各方面に續出し乃ち總計百零三枚の多きを示し從來の記錄を破りたるが之を七月の三十三枚に比し三倍強八月の四十八枚に比するも二倍以上となりいかに九月の商界が一部に於て一種の恐慌狀態を呈したるかを見得べし尙ほ八月の不感熱高潮當時振出たる手形中期限の關係上十月に入つて不渡りを續出するものあるべしとの事につき今月の不渡手形も相當の數に上るならんと觀測されつゝあり

旱害救濟の對策（三）

總督府殖產局長 西村保吉氏談

併し乍ら實際に於ては地主の資力にも厚薄があり同時に亦小作人の被害狀況にも差等のあることであるから一概に小作人對地主の救濟に依つて救濟の目的を達し得るとは考へられぬ隨つて地主の力の及ばざる所に於ては又自ら適當の方法を考へなければならぬ

其の方法 としては成るべく直接救助を避けて生業扶助の方法に依ることが必要である生業扶助の第一は成るべく被害民に業務を與へて勞働收入を得せしめる途を講ずることこれが最も適當に考へられる。其の勞働を被害民に與へるには總督府なり或は道なりに於て管轄する所の（一）治道工事を成るべく被害地方に多く實行して地方に勞働を與へることも一の方法であり又民間の（二）輕便鐵道工事若くは（三）灌漑事業といふやうな種類の事業にして速かに實行し得べきものは成るべく速かに實行することにしたならば一には地方の勞働需要を喚起して罹災民を救濟するの一端ともなり一には企業者の爲にも此勞力の餘剩ある時に實行する方が好都合であらうと思はれるので我々は此際

各企業者が 地方公共の事業に着手せられんことを希望する次第で政府に於ても極力此の種の事業を奬勵する方針である政府の治道工事は特殊の設計及び技術を要する作業物を除き出來得る限り不坦部に屬する土工にして農民の作業に適する部分を選み被害地方に於ける工事箇所の數を多くし被害民の就業を容易ならしむるの目的を以て未成道路中京畿道以北殊に[illegible]至る一等道路及二等道路に對して一齊に工事を實施するの計畫を立て既に夫々實行の命令を發した次第である、而して其實行方法に付いては事甚だ急を要するものあるが爲めに特に必要なき限りはすべて測量設計及び工事施行の監督方法等すべて簡易敏速を主とし特に

其權限を 各土木局出張所長に委任し所長の獨斷專行に依つて急速に實行するやうな事に運んで居る尙ほ斯の如き方法を實行して勞働を與ふる事にしても實際遠隔の地に在つて夫等の勞働に從事する事を得ざる者若くば冬期氷雪の時季に瀕んで戶外の勞働に從事すること能はざる者に對しては生業扶助の第二の方法として出來得る限り地方相當の副業を奬勵することに努め若し其の副業の材料の缺乏するが如き者に對しては極力材料供給の便宜を圖り必要の場合に於ては材料運搬の支出等に對して政府は適當の援助を與へる積りである以上の如き方法に依つても尙且自活の出來ざる老人小兒若くば病弱者等にして他に最早救濟を求むる途がないといふ絕對的生計困難の位地に在る者に對しては政府は適當の方法によつて直接救助を實行する見込である即ち以上の如き方法に依つて一面に於ては罹災者全部に對して

食糧配給 の潤澤ならむ事を圖り一面に於ては各罹災者に對する救濟手段の實は上萬々遺算なからんことを期するといふことが救濟方法の要目である政府はこれが爲に十分努力する考へであるが各關係の道郡面は申すまでもなく地方の地主或は小作人等に於ても是等政府の方針を諒解して徹底的に自他の救濟若くは副業に從事せられむことを望む次第である（完）

米作豫想

一割二分增收

農商務省發表、大正八年度米第一回收穫豫想如左（東京特電）

本年は插秧に方り氣候順調にして適期なりしが移植後多少降雨少く氣溫低く爲めに生育稍遲弱の觀ありたるも其の後氣候恢復し分蘖良好となり且つ病蟲害の發生少く發育旺盛となりたるを以て一部地方に於ては九月中旬暴風雨の害を蒙りたるに拘らず全國を通じ作柄好良なり殊に米價は著しく騰貴せし爲め一般に施肥數增加し栽培に注意したるより九月二十日現在の豫想高は六千九十七萬七千七百五十六石にして是れを前年の實收高に比すれば六百二十七萬八千六百五十九石即ち一割一分五厘を增加し又平年作に比すれば六百四十八萬七千六十四石即ち一割一分九厘の增加を示せり

米穀自給可能

內地の大豐作と朝鮮米

內地の米作豫想は別項東京電報の如く六千零七萬石にして之れを平年並に前年に比し六百三四十萬石の大增收となり內地米作の新記錄を作りたるが最近までの一般に於ては本年好作柄なりとは云へ五千八百萬石內外なるべしと豫想されたるに事實六千萬石以上の數字を示したるは本邦食料問題の實狀より見て喜ぶべき事と云ふべし

內地一年間 に於ける米穀の消費は近年好景氣のため激增して約六千二百萬石に達すべきも米收六千零九萬石を算するとせばその不足額は僅に二百萬石內外に過ずその位の補給は朝鮮米並に臺灣米の移出を以て優に爲し得べければ大正九年の飯米は事實上國內の自給可能なりとの見込確立したりと云ひ得べく尙ほ別に[illegible]米を輸入する事となれば米は相當の餘剩を告げ來るべし然れど米價は供給量の充足あるにつき漸次低落一方なるべしと見るは果して如何あらん[illegible]表以來內地各米穀取引所並に仁川取引所も軟勢を示し居れど然も內鮮の農家は二三年來の米高[illegible]資力

著しく增大 し居り從つて彼等は容易く安値には賣り出さゞるべしとの觀測有力につき著しき米の安相場を見るは不可能ならん少くとも永らく壓迫され居る軟派に再躍の一大材料を與へし譯につき米價の伸び方は大に殺がるべく米價の不勢は自然諸物價の調節にも効能多かるべしとも見られ居れり此際遺憾なるは鮮米の不作なり若し鮮米が昨年の如き豐收を示せば米價の大勢は一層逆轉し來りしならんと

仁川期米暴落

仁川期米は內地米六千萬石の增收豫想に京阪神各取引所暴落の報を入れ更に秋日和良好にして日射十分なれば鮮內旱害地の米作も見直し來らんとの豫期あり又十二月限乃ち新米出盛り期の期米が四十一圓臺を上下するは割高觀あり三日前場は大武の手[illegible]騰を來し寄附四十圓四十錢と前日後場止めに比し五十五丁大下に寄附高値六十四錢安値三十錢止め四十四錢にて散會せしが目先一段安あらんと

畜產技術官會同

＝第二日＝

畜產技術官會同第二日は三日午前九時より總督府第二會議室に於て生田農務課長代理統裁の下に開會午前午後に亘り管內畜產狀況を聽取し午後四時散會せり

雜穀先物取引

京城市場に於て

京城穀物市場にては二日より雜穀の先物取引を開始したるが相場好勢の折柄とて粟大豆に相當の賣買行はれたり尙ほ米の延取引は開始せしやう報ずるもあれど諸種の關係上俄に實行し得ず當分雜穀のみに留むる由なり

定例長官會議

三日午前十時より總督府第一會議室に定例長官會議開催[illegible]水野政務總監を始め各局部長官並に所屬官署長[illegible]及來年度[illegible]協議したり

旅團演習延期

步兵第三十九旅團幹部演習は六日より水原附近に於て實施の豫定なりしも時局の爲め當分の間延期に決定したり

獸醫出野外作業

第二十師團獸醫分團は[illegible]附近にて三日より野外作業を實施する事となり師團よりは獸醫部長以下二日夜發同地に向へり[illegible]附近の牧場視察すべく宮地師團副官は右視察の爲め三日發洗浦に向へり

丁種勤務演習

第二十師團騎兵將校の丁種勤務演習は三日龍山騎兵營に召集實施師團司令部よりは佐藤參謀官副官等其他狀況視察の爲め臨場せり

畜產貸牛南轉

東洋畜產會社の地方農家貸附牛中西鮮方面旱魃の結果解約を餘儀なくせらるゝものありそれらは漸次南方に輸送し南鮮の農家に貸附を契約しつゝありと

殖鐵と改稱

三菱東拓を主とし計畫中の西鮮拓殖鐵道會社は一兩日中許可さるべき模樣なるが社名を西鮮殖產鐵道と改稱する事となりたり

東拓檢見開始

東洋拓殖會社京城支店にては一日より所有地稻作の檢見を開始したるが來る二十四五日頃に終了すべく收穫豫想は旱魃のため結局約二三十萬石を切ることゝなる模樣なり

醫師試驗日割

醫師試驗は既報の如く十月六日より京城醫學專門學校內に於て施行の筈なるが今期の受驗人員は第一部內地人五名鮮人一名第一、二部內地人二名第一、二、三部內地人四名鮮人二名第二、三部內地人九名第三部內地人四名鮮人二十七名の內女子は內鮮各一名總計[illegible]にして受驗日割並に科目は左の如し但し午前は十時より正午迄午後は一時より三時迄とす

▲第一部 七日午前化學午後物理學、八日午前藥物學、十日成績發表
▲第二部 十一日午前病理學午後外科學、十三日午前內科學午後眼科學、十四日午前產科婦人科學午後衞生學、十六日成績發表
▲第三部 床試驗日割は第二部試驗の結果に依りて定むる由

警察署名稱

四日府令を以て警察署の名稱位置及び管轄區域變更の件發布さるべきが右は開城郡警察署を開城警察署に並に同郡松都面に在りしを開城に改めたる外一件の改正を加へたるもの及び開城停車場前派出所の項の次に[illegible]駐在所外七駐在所を加へ又大邱警察署管內にも若干の改正を加へたる旨發布さるべし

工藤知事著任

工藤京畿道知事は三日午後七時二十分南大門驛着列車にて着任すべし

辭令

休職 總督府事務官 久永三郎
依願免本官 總督府通信副事務官 橋本欽四郎

總督府職員陞級

陞敍高等官三等 ▲總督府事務官小田幹次郎▲同[illegible]田男▲司獄深澤新一郎▲同湯田豐史▲技師穗積孝平▲同中村新太郎

陞敍高等官四等 ▲總督府視學官上田駿一郎▲府尹吉田格之進▲同石原留吉▲稅關長平井三男▲技師保科正昭▲道事務官松本誠▲同井上清▲事務官板垣[illegible]

陞敍高等官五等 ▲總督府通譯官[illegible]▲同[illegible]薩克巳▲道事務官西嶋貫太郎▲警視葛城最大郎▲道事務官永野嘉[illegible]▲同商武公美▲同本島勝義▲技師入江壽太郎

陞敍高等官六等 ▲總督府[illegible]大野比三郎▲[illegible]大島良士▲參事官秋成彥三▲事務官[illegible]

司法官異動

三日左の通り任命發表ありたり

平壤覆審法院判事 寺川三藏 補平壤地方法院部長
平壤地方法院部長 遠藤柾治 補平壤覆審法院判事

人事消息

▲佐藤騎兵中佐（師團參謀）二日夜平壤へ出張
▲門馬傳四郎氏（步兵第七十四聯隊附少佐）今回正六位に陞敍さる
▲坂井師團副官 湖南線地方館陽視察の爲め出張中の處三日歸城
▲藤井公平氏（大阪每日特派員）三日來鮮京城通信部勤務
▲高野省三氏（三井物產京城支店長）三日朝釜山上陸十時急行にて北行
▲國分象太郎氏（李王職次官）釜山より歸城
▲藤川利三郎氏（前慶北道知事）三日朝家族同伴入城浦尾へ
▲多田榮吉氏（新義州木村會社長）三日朝退城
▲天野雄之輔氏（三井物產支店長代理）支那出張中の處三日午後七時五十分歸城
▲辻武美氏（三井物產京城支店長）三日午後八時大阪發五日午前九時二十分着列車にて來任の旨三井物產支店に入電ありたり

其の日其の日

◇英米の罷工騷ぎは愈々擴大して、徐々猛烈ならんとす。今之れを冷靜に觀れば、彼等は頭腦の能率と、筋肉の能率とを如何にして計算し、而して其の利益分配の標準を算定するか、是等の點の未だ明瞭になり居らざる以上、假令產業が國有になりたりとて、其の效果は充分なりとは言ひ得ざるべく、何時迄も同じ事を繰り返すに過ぎざるべし。

◇產業國有を主張する以上は、其の手段の實施せらるゝ曉に於て、傭者と被傭者との間に、生產利益分配に就ての、理論的の研究を要す、而も未だ其要なくして、徒らに公平の分配を叫び、是を明するが爲と稱する運動のみに騷ぐは、目標なしに足に任せて驅け出す盲目馬と同樣也。何ぞ其の愚の甚だしき。

◇世の中には何となく世間が騷々しくなると、思はず室外に飛び出して騷ぎ廻る愚者あり、其の淺慮は洵に憐れむに絕えたり。這は人間の意思の力に非ず、單なる筋肉の運動にして一種の精神病者なりと云ふべき也。

◇支那南北和平は、又復行き詰まり、湖南先づ形勢の險惡を示し、風雲急なるものあるが如し。北方もこより此の形勢に鑑み徒らに和平を希望するものに非ず。益に訓練して防禦を固くし、以て北方の始終和平に意のある處を周知せしめよと云ふも、事實は寧ろ武力解決を計畫するもの、如し、支那の和平は到底[illegible]にては最早[illegible]也。能く十年同じ事を繰返すものに非ずして、其の遲々的なる遂に世界を顧慮して進み得ざるに非ずや。

財界閑話

總督府の發表によると七年の鮮米實收高は一千五百萬石とある、これまで昨秋の豫想一千三百五十萬石が實收に近いものと信じて居た一般の商人は百五十萬石も違つて居た譯である▲昨秋一千五百萬石の實收を得て居たのに八年の鮮米移出高が三百五十萬石に過ぎないとすれば鮮內の消費は實に一千一百五十萬石と云ふ計算になる譯だ▲果して然らば八年の豫想一千二百七十萬石は[illegible]石內外の減收になるから實際の移出餘力しかないやうだが[illegible]大した被害もないやうだから事實は二百萬石位となるかも知れぬ▲それにしても八年に比し百五十萬石の減になる勘定、一石を三十五圓と見るも四千二百五十萬圓の減額である▲朝鮮の財界としては輕視し難き影響を受くるものと見ねばなるまい▲加ふるに大豆作の減收あり來年の鮮は恐らく[illegible]を招來するであらう今年のやうな氣で居ると見當は飴が違ふ――と云つて居る銀行家がある。

祝支局開設
營業科目 疊表、花莚、座布團、スリッパ、枕、簾類製造販賣
全州本町 朝鮮製莚株式會社 電話一〇九番

東洋一之破格洋服

柄の新らしい氣の利いた高尙の品澤山有ます價は安くつて、スタイルの良い堅牢な確かな裁縫
東京麴町區山元町貳丁目角 電話九段一〇二五、一〇四一番
關根商會高等洋服店
地方郵券拾錢添へ御申越次第寸法用紙見本等送附す

祝支局開設
全羅北道金融組合聯合會
理事長 佐々木志賀二
理事 村松保度

醇良清酒

鮮滿到る處に販賣す
醸造元 平壤 齋藤酒造合名會社

全北輕便鐵道株式會社
資本金 參拾萬圓
積立金 壹萬貳千五百八拾參圓
配當率 年八朱
線路延長 [illegible]
旅客賃率 [illegible]
貨物賃率 [illegible]
本社 全州 電話 一四八番 一〇七番

メリヤス類 製造販賣
御直段表 無代 呈
名古屋市千種町 樋口メリヤス製造所

祝支局開設
資本金參千萬圓
（年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務並に貯蓄預金業務を取扱申候）
京城府南大門通二丁目
株式會社 朝鮮殖產銀行
頭取 三島太郎
電話長六〇〇、一四番 營業振替貯金口座二〇九番 道金庫振替貯金口座特一〇〇參番
支店及出張所 （京畿道）仁川、水原、開城、（忠淸北道）淸州、（忠淸南道）公州、鳥致院、大田、論山、江景、（全羅北道）全州、群山、井邑、金堤、南原、裡里、（全羅南道）光州、松汀里、木浦、[illegible]、（慶尙北道）大邱、金泉、尙州、安東、浦項、（慶尙南道）釜山、晉州、馬山、[illegible]、（黃海道）海州、沙里院、（平安南道）平壤、鎭南浦、（平安北道）義州、新義州、（江原道）春川、鐵原、（咸鏡南道）元山、咸興、（咸鏡北道）淸津、羅南、城津 の外內外地各地に取引先有之候

祝全州支局開設 全州郵便所長 福田覺[illegible]

祝全州支局開設 全州郵便局長 近藤新一郎

祝全州支局開設 全州 佐藤恒太[illegible]

祝全州支局開設 全州 柴田兼[illegible]

川合時計
京城本町二丁目 電話二九一八番

急告
新に生れた時季のお知らせ
原年室內ストーブ掃除や取付けに迷惑の向は[illegible]太平町貳丁目[illegible]ストーブ取付掃除[illegible]
室內ストーブ其他[illegible]ありますから[illegible]
公益[illegible]

父 小川久市 年人病氣の處養生不相叶昨三日死去仕候此段辱知諸君に謹告候也
大正八年十月三日
龍山三角地金川商店
男 小川眞喜太郎
親族 小川[illegible]
友人 竹村忠作
同 島田忠
代理人 前川豐次郎

國境横斷旅行(五)

講堂に安重根の寫眞 淺瀬を渉て物々交換 困難なる國境の警備

鍾城から惠山鎭へ

臨所次第で何うにでもなる間島 不良の徒輩がドシドシ往來する

間島にて 特派員 伊藤韓堂

下社地の對岸和龍縣合化社には約三千名の鮮人が居住して居るが、皆に不良の徒である。社内の東京台には四十二三年以來屢大茂山、惠山鎭を

襲撃した暴徒 の首魁洪範道が居住して居る。又南坪洞には耶蘇教の國民學校があつて洪範道と並び稱さる、白民老(名は尚雍)や又は尹一獸等の者が居つて不良一子の養成に努めて居る。國民學校の講堂には伊藤公暗殺の安重根の寫眞が揭げて在つて生徒に禮拜させるさうだから、其の大膽は想像が付くであらう。此の對岸一帶に對する警備は實に容易でないが、殊に下社地は茂山間島から會寧に通ずる

唯一の通路で 隨つて交通も頻繁である毎日六七十頭の駄馬は駐在所に集まり、荷物の檢閲を經て稅金を支拂つて行く、密輸出品は阿片が主であるが上等の阿片は金と餘り違はぬ値段で取引さるゝので、罌粟の密栽はイクラ嚴重に取締つても行はるゝさうである朝鮮内は嚴重だが間島の方は勝手さへ巧にすれば殆んど自由で、森林を少し拓いて種子を播き二回か三回草を拔いてやりさへすれば立派な罌粟が出來るのである。之から生阿片を製して浦鹽方面に搬出して

〇〇の軍用金 に充て、居る鮮人も少くないさうで、間島の奥地に行くと一握りの阿片でも數十圓に値する是れ位な金を一時に稼へるに都合のいゝものはない。今年對岸の合化社方面は支那官憲の取締嚴重で畑で罌粟を切り棄て豆滿江に流した處もあるが袖の下で無事に濟んだ處も少くなからうとの評判だ。下社地を經て朝鮮に輸入さるゝ雜穀=粟、黍、稗等は一年一萬五六千石で總て牛車馬背に依るが會寧迄十二里間片道一毫の運賃で十五六圓位し返り荷があるにも拘らず所く高いのである。一時

白豆の盛の時 は一磅片道二十五圓の輸出もしたさうだ。朝鮮からの輸出品は綿織物の類、雜貨等が主で綿絲布類も少くない。密輸出入は各地共淺瀬の渡渉に依つて行はるゝが、何か對岸から必要なものある時は岸に立つてオーイと呼び出して『此處に粟を一斗置くから…鹽三四升届けて吳れ』とか『木綿十尺遣るから粟を七八升持つて來てくれ』と云うて相互間に行はる。發見されると

現品を沒收し た上に御叱りを被るが之れが粟や鹽許りなら何事もないが、銃砲火藥の類が搬入され、旅行許可證を持たぬ不良徒輩が渡渉して來往する際があるから困つたものだ。豆滿江百二十里の流域に平水の時は數百箇所渡渉の出來る箇所があるから現在の如く渡船場で如何に嚴重に取締つても絶對的に不良徒輩が來往して居ないとは斷言出來ぬ。殊に冬季の結氷期間中は朝鮮も支那も地續きで、何處からでも自由に往復することが出來るのだから危いものだ。

うば車

我が影の夕日に長し柳散る　香雲

陸海軍人の恩給令を改正

今期議會に提出せん 三千萬圓支出すべき計畫

政府は來るべき議會に愈々官吏の俸給令及び陸海軍々人の恩給令改正を提出する事になつた文官の俸給令は五割の臨時手當を本俸に繰入れ其恩給は從來の規定による事であるが陸海軍の恩給は從來國庫から支出し居る恩給の大部分を占て居る上に其

割當方法 が文官と著しく相違するので在郷將校に取つては容易ならぬ大問題である結局去る明治四十二年の頃に制定された改正恩給令施行當時から今日に至るまで軍人に支給せる恩給は二千萬圓であつたのを今度其五割を增加して三千萬圓を支出せんとする計畫である現在陸海軍人の大尉が四年限りに服務二十年で

豫備役に 編入されたならば其恩給は年額四百十四圓、少佐が二十一年後に豫備となつて六百卌圓何れも月額四五十圓を出でないので四、五人の子供を持つ身では子女の教育も出來ない、而も一朝有事の際には出仕若しくは召集に應じねばならぬので生活の保障が十分でない所から之れを今回恩給は凡て退職當時の本俸の五割を給與せんといふので從來は在職十一年以上五十年迄としてあつた規定も根本から改正される筈である

撤廢近し

新義州檢疫 滿洲の虎疫衰ふ

其後滿洲の虎疫は防疫委員の努力功を奏し漸く終熄に近づき最近新患の發生せる地方は大連其他二三の地方に過ぎず今後蔓延の顧慮は全く除かれたるを以て我が新義州停留檢疫も近く撤廢を實現さるに至るべし滿洲の終熄に反し鮮内の虎疫は益々猖獗を極めつゝあるは頗る遺憾にて此際防疫委員の一層の努力を希望するもの多し

明年 勅題

來る十九日發表されん

明大正九年一月十八日宮中鳳凰間に於て新年歌御會始めを行はせらるゝに就き近日中に入江御歌所長に對し大正九年歌御會始め題を仰付けられ同所長は二三の御題を選定し波多野宮相を經て畏き邊に伺ひ奉りたる上來十九日頃勅定發表せらるべしと(東京電報)

潜水艦觀覽に就て

岸壁から見るのは自由

來る七日仁川に來航の筈なる潜水艦觀覽に就ては世間一般に入場券若くは觀覽許可證の如きものを所持するに非ざれば觀覽し得ざるもの、如く誤解し居る向あるやうなるも右は潜水艦の内部に入り觀覽するには相當の制限を附したるも艦は岸壁下に繫留しあるを以て何人も觀覽差支なしと

帝展會場 新建築

豫算三百五十萬圓の大計畫

美術展覽會場の建設は多年の懸案なるが文部省に於ては曩に從來の文展官制を廢止し新に帝國美術院官制を公布して斯道の發達興隆に一生面を啓けるが其の主たる事業たる美術展覽會の會場に就ては[illegible]を以て到底滿足すべきものに非ず官制の發布に伴ない展覽會場の新營は頗る急に其必要を促進せるに鑑み、國立美術展覽會場を新設するに決し之れが經費を明年度豫算に計上せり其内容は約四千坪の鐵筋コンクリート平家建にして地下室に事務室、食堂を設くべく總經費三百五十萬圓を計上し明年度以降八箇年繼續事業なるが大藏省の査定も通過の望みあるが如しと

又しても大連の怪火

原因は不明

二日午前九時大連埠頭東野倉庫より發火したるが直ちに消止め損害は小麥一山大豆四山を燒失せり原因は例に依りて不明なり(大連特電)

北海道後志 大火

全燒百四十戸に及ぶ

十月一日午後六時五十分北海道長官發二日午前零時廿八分内務省着電一日午前十一時三十分後志國島牧郡島牧村大字高島六十二番小林政次郎方物置の間より發火し全燒約五十棟百四十戸半燒三十三戸を出し五時三十分鎭火せるが損害五萬圓消防夫三名輕傷を負ひたり(東京電報)

帝展を飾る品々

ざつと見渡した前景氣 無鑑査待遇や審査員などから推薦者其他の中堅どころを

世界の改造熱に促された譯でもあるまいが文展の一枚看板も少しく時代が付き過ぎたりとあつて今年から帝國美術院展覽會と書き改め同時に内容も改善したが、扨て蒐集さるべき作品も文展時代の舊態から蟬脫して改名に配はしいエポツクを作る事であらうが、既に其開明も目睫の間に迫つてゐるので一廳その前景氣とも云ふべき諸作家の勉勵振りを記せば左の通りである

日本畫 橋本關雪氏『漁樵問答』六曲一双▲小室翠雲氏『花鳥』双幅▲結城素明氏『山水』『植物』三幅▲松岡映丘氏『足利風俗』『山内多門』▲川合玉堂氏『天龍川』『花』▲荒木十畝氏『晩秋』▲池上秀畝氏『雪の驛路』『湖面』各六曲一双▲野田九浦氏『網場』▲町田曲江氏『神代の秋』▲山田敬中氏『初秋』▲廣瀨東畝氏『梅雨晴』▲萬谷龍岬氏『夕陽』▲平田松堂氏『紅葉』▲北野恒富氏『鏡の前』▲水上泰生氏『初秋』▲小山榮達氏『桶谷』▲飛田周山氏『神泉』▲和田英作氏『雨の後』▲四十矢澤弦月氏『新涼』▲中村不折氏『天の岩戸』▲孟母斷機』▲中村岳陵氏『秋』▲渡邊華山氏『各六十號』▲鹽澤國四郎氏

西洋畫 黒田清輝氏三十號田三郎助『合歡の花』▲長原孝太郎氏『ヒドリヤの風景』▲和田英作氏『雨の後』四十號▲中村不折氏『天の岩戸』▲『孟母斷機』▲藤島武二氏『カーネーション』各六十號

『三人の琉球人と馬』『百號』▲中澤弘光氏『巖島』と『裸體の女』▲中川八郎氏『十和田湖附近』『初秋』▲南薫造氏『冬の風景』二百號▲長原孝太郎氏『茶店先』二百號▲太田喜二郎氏『桃咲く里』▲吉田博氏『白馬山』外一點▲山本森之助氏『長崎風景』▲石川寅次氏『山口風景』五十號『一暖爐の床』三十號▲白瀧幾之助氏『上海風景』『燕川風景』各四十號▲和田三造氏三十號『男』▲片多德郎氏『晴着』三百號『一應接間』『枕樹と椅子に寄る肖像』四十號▲牧野虎雄氏『庭前の一隅』六十號『三崎風景』四十號▲辻永氏『羊の群』百五十號『日向葵』五十號『ミシン縫』百五十號▲田邊至『夜の銀座』四十號▲大久保作次郎氏『病院の庭』『百姓夫婦』

彫刻 新海竹太郎氏『ナーガ』『カンタカ』▲朝倉文夫氏『ブライド』▲小倉右一郎氏『虎視耽々』▲長谷川榮作氏『幸は人類の笑顏』

上にあり』など云つた處で高日本畫の鏑木淸方、平福百穗、吉川靈華三氏の金鈴社一部の人は出品なく同じく推薦者の内で土田麥僊氏の出品なきも豫定の行動で京都方の老大家竹内栖鳳、山元春擧氏等の出品は未定である、因に出品受付は十月一日に始まり五日締切り、六日に審査員の總會があつて七日から鑑別にかかり十一二日の頃に決定する筈である(東京)

モーリー氏公判

三日午前京城覆審法院にて開廷 原審事實を大部分否認 背廣服の被告マウリー 次回は來る廿三日開廷

平壤から高等法院を經て京城覆審法院に廻附された米國宣教師マウリー氏に關する犯人藏匿事件第一回公判は三日午前十時より同院第七號法廷で開廷、塚原裁判長、西山、山口陪席判事、寺田檢事は大久保辯護士と共に出廷す塚原裁判長は大石通譯官の通譯で訊問を試みたが原告は鮮語を使用した爲め通譯の要がなくなつたらしくマウリーは一々否認し大久保辯護士より證人五名に對する證據調べが濟むと

實地檢證 等の申請があり寺田檢事は其必要なしと反駁した、そこで裁判長以下一旦退廷し暫く合議の上再び開廷し裁判長は辯護人の申請事項を留保し本件證據の顆原本未到着のため右到着を待ち來る廿三日公判を續行する旨を宣し閉廷した時に零時半被告は公判中悄然として

俛頭れて ゐたが閉廷と同時に俄に快活らしい顏色を見せて傍聽に來て居た友人達と握手を交した傍聽人は米國副領事北監理派監督ベルシュ博士、セブランス病院長エビソン氏等より關係米人等十數名外鮮人若干名であつた。

潜水艦見たまゝ(五)

巧緻を極めた潜望鏡

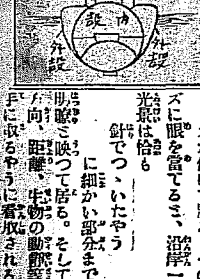
床の中で一番ゆつくりした場所を取つてあるのは艦長の床である。然し他の床に較べて幾分ゆつくりして居ると云ふだけで立派であると云ふわけではない。そして此艦長の床は艦内の神經中樞とも云ふべき場所であるから指揮命令に必要な機械例へば話だとか鈴だとか云ふものが此床の周圍に集まつて居る。つまり水上に浮いて居るときは艦長は司令塔に在つて總ての指揮命令を下すのであるが水中に潜つて居る時は此床が司令塔の代用をするのである。次に

無線電信室である が之を艦内何れの室よりもゆつくりして居る。大きなテーブルがあつてその上に恰もタイプライターのやうな器械が乘つかつて居て種々の線が入り組んで居るばかりで我々素人が見てもあまり有難さうな器械とも見えない。それでも此の無線電信こそは他の艦船との連絡上最も必要なものと思へば此の艦内で

恰ら御座敷の格を 與へてあるのも無理はない。次に觀覽者をして最も興味を覺えしめるのは潜望鏡である。此の潜望鏡は甲板の上の方から柱のやうな圓筒が下つて居てその柱の下部徑に眼窩大のレンズが付いて居る。そのレンズに眼を當てると、沿岸一帶の光景は恰も

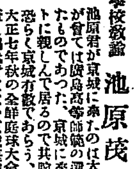
針でつゝいたやうに細かい部分まで 眼に映つて居る。そしてその方向、距離、生物の動靜等までも手に取るやうに看取される。之は艦上に突出して居る突端のプリズムに映じた光景が反射作用で圓筒の下のレンズに映るのである。此の潜望鏡は二本あつて一本は今說明したやうな周圍の光景を見るもので、一本は

飛行機飛行船等を 見る爲めの望遠用の潜望鏡になつて居る。そして此の二本とも普通は水面から約二十尺ばかり突端を現はして居るが、敵の襲擊に遭つたりして姿を隱す必要が生じた場面にはソツト水中に引込めて了ふやうに屈伸自在な仕掛けになつて居る。他にも種々な室もあり面白い器械もあるが筆者に解る程度の見たまゝを記せば大略以上の如きものである。(完)



庭球界の人々(三)

京城高等普通學校教諭 池原茂二君(大和)



池原君が京城に來たのは大正七年であつたが曾ては廣島高等師範の選手として鳴らしたものであつた。京城に來ても矢張ラケツトに親しんで居るので其腕前の猛烈な點は恐らく京城有數であらう、立見君と組んで大正七年秋の全鮮庭球大會に優勝したのも蓋し偶然ではない京城庭球界の重鎭であるが今夏はあまり當らなかつた將來も少し技が圓熟すれば獰猛な點はなくなる代りに確實になるであらう。君は明治二十六年鳥取縣氣高郡鹿野町に呱々の聲を上げた福井師範を出て廣島高師に入り大正七年卒業すると直ぐ朝鮮に來任したのである、生來不健康なので小學時代にラケツトを握つたのが初まりで、福井師範廣島高師でも選手として鐵腕を揮つた、百錬千磨を經た君の今日の身體は申分のない程に立派なものである『嗜好と云ふ程のものはありません』と謙遜して多くを語らぬが絶えず微笑を以て人に接すると云つた風であるから評判は至つて善い、まだ學校を出たてなので獨身で寂しいらしい。現住所は大和町三の一七

全北の虎疫

猖獗を極む

二日全北扶安郡龍北面に鮮人一名金堤郡萬頃面に鮮人四名の虎疫新患者を發生し萬頃面の四名は全部死亡せり(三日著電)

帆船に發生

釜山停泊中

釜山停泊中の帆船大神丸に内地人男一名疑似虎疫患者發生目下檢鏡中(二日夜發電)

別報 二日木浦より釜山に入港せる帆船々夫愛媛縣西宇和郡三崎村阿部福松(十八)は船中にて發病檢疫の結果疑似虎列拉と診定せられ直ちに絶影島檢疫所に隔離檢鏡中なり(釜山特電)

モス今を盛りと咲き揃ひたるを以て五日未生流活花大會を催し子供の爲めには午前十時より子供大會を催すべく當日は矢橋小龍氏のお伽噺等もある筈

豫防注射日割

京城府廳にては一兩日前より本町署管内に於ける注射日割如左

回	日	區域
一回	二回	區域
三日	十日 十一日	吉野町、古市町、御成町、蓬萊町一丁目、南大門通四、五丁目(南大門外所內集合所)
二日 三日	十日 十一日	黄金町六七丁目、光熙町一二丁目(東大門小學校和泉町、蛤洞、中林洞、芳洞)
四日 五日	十二日 十三日	芳洞、西界洞、義州通二三丁目、蓬萊町二三四丁目(和泉町和泉倶樂部)新町、本町四五丁目、並木町、西四軒町、東四軒町、大和町一二三丁目(本町櫻井町一二丁目)
四日 五日	十二日 十三日	明治町一二丁目、南大門通一二丁目、長谷川町、北米倉町、南米倉町、大平通二丁目、日ノ出町、古市町、本町一二三丁目、旭町二三丁目
六日 七日	十三日 十四日	黄金町四五丁目、林町、花園町、初音町、飛橋町(明治町元漢城病院跡)、芳山町(黄金町演技館)
六日 七日	十三日 十四日	長橋町、水下町、茶屋町、南大門通一二丁目、貞洞、西小門町、南武橋町、水標町、笠井町
八日	十五日	黄金町一二三丁目、黄金町武德館

運動界

新朝優勝旗爭奪 三勝者戰擧行

朝鮮體育協會主催の朝新優勝旗戰は去る一日二勝者戰を擧行し商銀、一銀、龍山、鮮銀中試の五勝者均勝したるを以て抽籤の結果愈々五日午前十時より三勝者戰を擧行する筈なりと。五日は明治町商銀コートで午前十時より鮮銀對一銀、三井コートで午前十時より龍山對商銀の[illegible]

山商銀の試合あり中試は不戰勝者と中試との試合あり三勝者を確定し決勝戰は十二日午前十時より明治町三井物産コートで擧行の筈なりと

戰のあと

滿倶軍の雪辱戰は物の見事に極り遺憾なき迄に報復し得たので滿倶軍も意氣揚々東京へ出發した、二日の試合に滿倶軍は初手から油が乘つてゐて掉投手の怪腕が自由に揮はれ鐵道軍の强打者も無爲三振に終らせられてしまつた、強打者大門が一壘に二り當らなかつたのは何故か一壘に二日も攻擊は振はなかつたやうである鍋島の出來は立派であつた、捍が注意したステツプの具合はよく覺ねてゐるのがよい若いのだから未來が期待されると思つた。久保田、諸富兩君の評判もよかつたが鐵道側の弱さや遊は注意して相手の感情を害するやうな言動は止めて欲しい。兎に角滿倶來襲は京城野球界の好刺戟であつた、夫につけても全、城軍の成立が出來ないと云ふのは殘念である、今度も滿倶は一度全京城と戰ふ意志があつたと云ふに惜しい事をした、是非機會に一日も速く全京城軍が成立せん事を切望する、區々たる小感情は外敵の前には捨て去られねばならぬ

◎技藝學校講演會 京城女子技藝學校では三日午後七時より同校講堂に於て講演會を開き菅野力夫氏の世界一週旅行談ある由

◎素人淨瑠璃二日目 三日夜より大倉二日目(四日)の語り物次の如し 『御簾に於て開催』 …鈴ヶ森(花房)助六(十六)志度寺(素鐵)赤阪並木(彌)杏掛(仁川鶴)拵慶(兵泉)赤垣(石水)御作(田樂)奈良梅、勝旭、紋糸、陶太夫

灯頃

▲警務局の事務室は今度舊の學務課室と定つて二日朝から引越騷ぎにゴツタ返して居た▲時永務官曰く『階下だから出入には便利だが打合の往來には骨が折れる』▲赤池務局長が頭痛で困つて居ることに『夫れは京城神社施政記念祭の時に長い時間日に照されたせうな』と言へば▲ト部保安課長『實は祭事に携はると他に知れない心配をするよ』▲僕も山形縣に居た時代に悩まされたものだ或時鎭座祭に御神輿の時供饌使の役を勤めたが供饌は古式に依り馬に乘れとの事で衣冠束帶の儘馬に乘せられたものだ勿論此方は右手に持つものだ知らぬ人に教へられた通り後生大事に左で手綱を操つて乘出すと乘馬が祭禮の行列に出會ふと驟ぎ出す▲馬の口は二人の馬丁が押へて居るから可いが尻がバネをされるには弱つて▲海拔八千尺の島蘆山頂に祭典主で遣られ凍りる手に笏を持つてシビレを切らした事もある仲々辛い者だ』

演藝案内

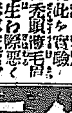
喜樂館 本町一丁目 電話九七番 有樂 喜樂館 ◎本町(活動寫眞) 日光の風景 ▲寶塚 休暇日の出來事 ◎九月貳十六日より特別興行 米國トライアングル特作品 ▲快活劇ドーグラスの義俠五卷 原名『善良なる惡人』怪男兒ドーグラス・フェヤバンクス氏出演 ▲舊劇元和三勇士 六卷 日活京都派新大作雄篇『廣島大佐討』 島備三ヶ國の太守福島正則の家老福島彈正左エ門は主家横領の謀を企てしも叢ヶ峰の陣代戸田主膳齋の爲に我望を遂げ難く謀計を以て晴眼齋を討取しが倅の新八郎は義兄弟石川教繩田宮左金吾の助力を得て遂に本懷を遂ぐるに至る迄忠臣あり悪僕あり俠客ある大雄編 ▲毎日晝夜二回開館 晝間正十二時より夜間六時卅分開演

浪花館 京城川場町 電話二六〇 浪花館 京山愛子一行 歐米新派朝女流浪界の横綱 當る十月一日より毎日午後六時開演 ▲御國の花 京山愛友 ▲小栗判官 京山愛子 ▲鍋島騷動 三河屋圓窓 ▲左甚五郎 京山小蝶 ▲大功記 三河屋常盤 ▲水戸黄門記 徳川巴城 ▲正宗と久助 京山雲篠 ▲義士傳 ▲澤照美談 二席 京山愛子

壽館 本町二丁目 電一〇五〇 壽館 時下秋冷之候御一同樣益々御清榮奉大賀候陳者私事此度斯界引退に際し各師匠連さ大方各位の御援助により十月三日より三日間壽館に於て紀念淨瑠璃大會開催仕候間御操合御來聽願上候 豐澤龍糸 引退紀念淨瑠璃大會 初日番組(十月三日) ▲御祝儀三番 ▲忠臣藏本藏下邸二段目 ▲日吉丸小牧山城中 ▲忠臣藏 阿波の鳴門 ▲忠臣藏勸平腹切 ▲先代萩御殿 ▲宿屋 ▲太功記尼ヶ崎 ▲鈴ヶ森 ▲朝顏日記 ▲戀娘昔八丈 ▲勢州阿漕ヶ浦 ▲平治佳家魚 ▲入 ▲大八 ▲柳蛇窟ヶ淵 日高川 玉糸 入場無料

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 當る九月廿六日より大寫眞提供 ◎寫眞劇『三人藝』長尺 ◎滑稽劇『小猫』 長尺 米國メトロ會社特作 ▲大活劇渦中の人 全六卷 エムミーヴエーレン孃出演 ルイジヨセフヴァンス氏の著作したる小說より脚色したる社會劇 大正日日連載小說松之助十八番劇 ◎猿飛佐助諸國漫遊記 信州上田の城主眞田幸村の家臣にして天下の豪傑たる猿飛佐助が諸國を巡遊し古今稀なる大膽不敵の振舞 日活本年度の大作 ◎松之助 …

毛は女の生命



毛のない人が大喜び 田中醫學博士の實驗 一婦人が毛の無い爲に悲しい思ひを焦しつゝ遂に悲觀の方へ…の田中博士の實驗により益々其効を證明せられ…脫毛…禿頭…毛生ゆる… 東京本所…美容院 …名刺ハガキで申込めば…送る所に悲しい秘密を打明け…詳しく通知する由

軍手卸賣

値段(運賃各店持) 貳百疋品 拾打以上壹圓參拾錢 百六拾疋品 同 壹圓貳拾錢 壹百參拾疋品 同 壹圓五拾錢 以上の注文は各品共壹打に付拾錢引 滋賀縣八日市町 野村手套製造所

公告 一、東大門公立尋常小學校新築工事 其他增築工事 右來る十月六日午前十一時入札ス 希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ 京城學校組合

畑硝子工場 其他一般の御注文に可應候 特製大工キス瓶 … 京城古市町電話…

天下一品 增本酒店

最新刊 救急法 …

大阪屋號 京城本町一丁目 朝鮮大地圖 …

家屋工場賣却 家屋建坪二階 工場建坪平家 場所仁川 右至急賣却 仁川本町三丁目 松本音吉

洋鐵瓦斯鐵管板鐵 京城南大門通三丁目 福田文六京城支店 電話一一二番 振替口座…

鷄卵配達開始 京城本町一丁目 守山鷄飼育所 電話五四二

第五版

營口近事

營河上流工程局技師荒井鈞吉氏を局長に任ずと決定

營口市內營業所より露貨物も及び沿線內間へ運搬する料金は從來は小洋錢なりしを來月一日より金建に變更隨つて其率も多少高くなれり

營口に在りて外人所有の物件買收に關し兎角個人として紛議を生じ易く結果邦人の不利に陷る事多きを以て酒句領事は此程の事に就ては勞を惜まず最善の注意を與ふる由右樣の事件に對しては領事館に届出づるを上策とす

大石橋も虎疫終熄に近づきしを以て豫防方も二十五日を以て廢止す先づ一安心

新任道尹史紀常氏營口に於て商務總理のため金融維持會を組織す

營口の水先案內料は戰時中二割五分增を決議し實行し來れり今は平和に復したれども當分現行の儘とし其增收を水先船の修繕費に充つると

營口驛擴張工事も二三日前保線係にて着手竣工は十月末日なり

當分の物價は騰る一方

休戰當時我國の諸物價は一時低落し特に鐵、染料、藥品等所謂戰時事業の打擊甚大にして中には事業閉鎖を見たるものさへ生ぜるが其後低落を豫測せられし歐米の物價が容易に下落せず却て

勞資爭議 の爲め昂騰氣勢を示し而も更に進んで產業の危機、社會狀態の激變を見んとしつゝあるにより當分は物價下落の見込無きに至れるを今我が一般思想の激變甚だしく幾に何等かの方法により物價調節を政府に要請せる勞働者階級が今日に於ては賃銀の値上を以て唯一の生活安定策とし而も怠業又は同盟罷業により自ら解決の衝に當らんとするに至り他方知識階級の

給料生活 者之れに同じつゝありて其の手段の是非善惡は之れを別とするも其結果は賃銀の騰貴となり生產費の增嵩となり隨て生產品の騰貴となり更に一般物價の騰貴を招來して消費者即ち勞働者給料生活者等に轉嫁せらるゝを以て續いて第二第三の賃銀增加運動となり斯くて物價の騰貴と賃銀値上運動は關聯接續して其跡を絕つに至らざる可し然れ共事物には自ら程度あり物價の如きも

無限騰貴 を爲すべき筈なく遂には漸落の過程を辿るべきは明白なり現に歐米に於ては

人爲的に必需品の價格を公定し或は一定の範圍に價格を限定し或は政府自ら配給管理を斷行して生產分配の任に當るものあり又歐米勞働者の運動は勞働者自ら生產需給の機能に參與して生活の安定を得んとする社會運動に外ならざれば政府と勞働者との見解の相違は要するに手段の相違に過ぎざるものなり從つて歐米物價の昂騰も其の終局あるものと見ざるべからず翻つて我が國の狀態を見るに現狀に於ては人爲的

物價調節 或は價格の公定は困難なるべしと雖も此の趨勢を以てせば事業擴張賃銀騰貴の結果遂には輸入の激增となり自然的調節を見るべき時機あるべし而して其時機如何は今日に於ては素より當然來るべきものとすべく是は由々しき社會問題なれば政府は此際進んで物價調節の方法を講ずるを緊要とせざるべからず（某財界有力者談）

四平街通信

守備隊檢閱 獨立守備第二大隊長樺山中佐二十七日來四し二十七八の兩日に亘り守備隊の檢閱をなしたるが成績頗る良好なりと

取引人と開始 資力調査を了りたる取引人は身元保證金の納入を二十七日完了したり取引開始は十月一日なりと云ふ杉田取引所長田中專務取締役は公主嶺に於ける取引狀態視察の爲め二十八日出張せり

取引人組合 取引人決定につき二十九日取引人組合を組織し同時に正副會長並に役員の選擧を行ふ由

轉勤 四鄭局龍田定藏氏滿鐵本社に轉勤し昨日出發す東亞公司出張所主任丸氣氏安東縣へ榮轉し後任として弓削藏氏が來任する由

四鄭局事務課 車務課長藥島氏二十七日午後六時十七分着任す

西亞の全土は過激派

コ將軍は奈翁の役

近來俄然として過激派に關する報道が頻々として表れ且つ注目すべき事情に屬する其然る所以を考ふるに最近列國が

對露放任策 を言明したるに依る可き乎對露放任策には云ふまでもなく過激派にも反過激派にも何れに對しても中立の態度に出づるの謂ひなるは無論にて之に依て從來列國の援助を受けて辛くも其の存立を維持したるオムスク政府が絕大の悲境に陷る可きは蓋し論を俟たず其

然に過激派が優勢の上に優勢を加ふるも亦自明の理なり若し夫れ如上の趨勢を考ふる時西伯利の前途如何は火を睹るよりも瞭かなり而して今列國が前途の放任政策を取るに至れる理由に於ては事情蓋し已を得ざるものありたるなれ即ち過激主義的精神の意外に强く且つ深刻に

列國民心に 浸潤しつゝあるに由るものなり例へば英國に於けるリヴアプールの大罷業米國ボストンの大變動其他佛蘭西海軍の赤旗事件伊太利の議會ゴフレンス號事件等悉く過激主義的運動の色彩を帶びざるなく就中リヴアプール、ボストン兩事件の如きはボリシエウヰキ如實の過激運動なり其他瑞西及び瑞典の諸國亦社會黨の勢力益々事情右の如くなれば今や過激派討伐の如きは到底不可能の事に屬し或は却つて自國勞働者の反感を激成して

自國を內部 より崩壞せしむるの結果に立到るなきを保せず茲を以て對露放任策に出でたるは正に數の當然たる所なり過激主義の世界に於ける影響は前述の如しとすればそが露西亞に於ては推して知る可きのみ勿論特殊階級の露人には純なる愛國者乃至國家興論者は多々ある可しと雖

滅亡す可き 運命を有する者なるは歷史の證明する所なり要するに大多數の露人にて過激思想は至大の共鳴と援く可からざる根據を有すと見らるゝなり偶コルチヤックの如きは

奈翁の役を 演ぜんとして其天稟輪廓餘りに小なりしもの彼の前途は今や行詰まれるものにして今後少時西伯利は過激派の手に落ち一轉して過激派の掌中に轉け込むか西伯利政界のキヤタスフロフならん乎と

商業學校問題

近年滿洲の實業界は異常の膨脹發展を示し銀行會社の創立せらるゝもの漸く多く隨つて就業員の拂底は其極に達し中等學校卒業生を物色するも殆ど其の需要に應ずるものなき有樣なるが滿洲に於ける商業教育機關は大連を除くの外其の設立せられたるを見ず年々同校の入學志願者は約四百名に達するも入學を許可せらるゝものは百名內外にして他の三百餘名は入學不可能の不幸を見つゝあり是即ち時代錯誤の一現象にして其の不足を補ひ其の缺陷を醫する事は焦眉の急務なる事は具眼者の等しく認むる處なるべし然るに近頃安東

の一部有志間には此の機會に乘じ安東縣に中等程度の甲種商業學校を設置し其の缺陷を補はんとするの議あり洵に時宜に適したる好目論見なりと云ふべし然るに一方對岸の新義州に於ては昨年本道及び府當局に於て同地に一商業學校を建設すべく計畫を立て既に具體的の成案を見總督府當路の諒解を得居れる筈なるも財源其他の關係上急に實現せらるゝや否やは頗る疑問なれば此の際安東の新計畫に對するに於ても同地の有志も亦是れに贊成の意を表するに外ならざるべし此の際安東の有志は進んで調査研究を遂げ其の實現に一大努力を要するものあるべし（安東縣）

滿洲に於ける虎列拉患者と死亡數

奉天を中心として全滿洲を風靡せしコレラも秋風の音づれると共に漸次下火となり昨今は殆ど根絕せし樣にて人心初めて安堵せりサテ滿洲にコレラ發生しより今日に至るまでの狀況を調べて見ると

患者 は初發以來全滿洲を通じて一萬一千二百五十三名に內日本人四百八十六名朝鮮人九十名支那人一萬〇四百八十七名その他外國人九十二名なり

死亡 せるは支那人の數は正確に判明せざるも二千名以上にて日本人二百二十三名朝鮮人五十名外國人七名にてその犧牲又大なりといふべきである

蒙滿穀物收穫

本年滿蒙一帶の農作物は初夏中降雨少かりし晚夏以後旱魃を被り高粱の伸び行き七分位にて降雨を切望せられしが遂に淫雨に接する事を得ずして今日に及べり概況我本國の數倍に及ぶ滿蒙の事なれば豐凶自から一定し難きは勿論なるが大體平年作に比すれば高粱七割粟六割大豆五割なり作附反別の步合は總面積の高粱四割、粟二割、大豆三割、小麥、亂（青麻）大麻子、瓜子等一割にて統計の豫想せられ得る內蒙古の平年作と作附反別とを見るに遼源縣六萬天地八萬石鄭家屯通遼縣十一萬三千四百天地三十九萬七千石ハインタラ一洮遼濱荒三萬六千五百天地九萬一千石洮南に至る迄計二十一萬天地六十六萬八千石なり本年收穫豫想高四十一萬七千石以上の收穫量の五分の三は每年輸出せられつゝありしが本年は平年の約三分の一を輸出し得るに過ぎざるべく粟は播種時期に於て價格昂騰せる際なりしを以て作付面積幾分多き模樣なるもさしたる影響に及ばざるべしと

伊達騷動

小金井芦洲講演

第十八席

甲斐が君前の奸策

三平は多くのものに引立てられ悄々として君前を力無げに退つた、跡で綱宗公早速に原田甲斐をお招きになつて……尤も甲斐は今日三平國照が諫言するの一味の惡人が君前に居合すから審かにモウお館から御使者が來ない前に注進を受けて直諫を入れたことも奉つて御前へ出る時には此位の才物であるから、斯う仰せられたらアゝ、ア仰せられたら斯うとチヤンと腹を拵へてお目通りをした、待兼ねてお出でなされた綱宗公、殿『オ、甲斐、火急に招き寄せた、餘の儀でない』甲『ハッ！』殿『今日は最とも祝すべき端午の節句、此の吉日に不吉千萬なるは亘三平、見よ予に對して斯樣なる書面を差出だした』甲『エッ、何事にございませうか拜見を仕りまする』殿樣がお手づから御差出しになつたのを取上げて見も斯う熟讀いたして居りましたつけ、思はず知らず思ひの外澄れたと云ふやうに裝うて甲『アゝ天晴れなるは亘三平、能く斯くまでに認めました、尋常一般の者の迚も出來る業でござらぬ、御當家の大忠臣、實に感服の至りでござる』殿『ホゝウ、如何に甲斐、何を其方は感心を致す、且つ門前拂ひを申付けた佐藤平吉の妻子や汝は謗り居るやう說めあるが是れや如何のものぢや……』甲『仰せの如く佐藤平吉は不憫の者、殊更妻子の門前拂ひの儀は聊か君の御無理かと心得、此の書面にも認めてございまする如く妻子を扶持いたしまして御ざる、其の譯は

輕小願佐藤平吉は存中能く主家に仕へました者、橫死を遂げて追放と相成りなば思慮淺き所の女のこと故達國他國に迷ひ歩いて君の無慈悲、不仁を盛んに流布いたしなば君の不德をあらぬ他人に知らしめねばならずと存じ、御門前近くに足を止めさせ、時節を待つて君に御願ひ申上げ佐藤の家を御取立てに奉り致さん考へ、これは私斷に似寄り殿御選擧の內にも之有る通り家を失ふこと勿れと云ふお教へにも適ふとかと存じます、又二つには値のことにて家名改易など御申付けになりましては一層自然疑ひを生じ忠勤を勵むもの之無きに至らば國家の亂れ、其三平は正直一遍の者なれば拙者が故彼を留め置きましてござるが故意に德を爵き君の不仁を流布いたすと申しましたは、是れも正直の致す所、賢者も百慮一失ありと申すのは是れで強ち齒牙に掛くるには及びますまい』殿『ウム、然らば門前拂ひを申し付けし時何故其方は意見を致さぬ、是れ三平が不審を致すつではないか』甲『恐れ入りましてござる、其砌強ひて御諫め申したる時は君の不明を家中一般に知らしめ、私一人賢明と云はぬばかりの振舞と相成りましては君の御恥辱此上やあるべからず、其故差控へ折を見て密かに御意見申上げんと存じ居りました、三平私の深き志しを知らず、されど更まれ角まれ斯く惡し樣に言らるゝ

斯く相成候ては却々に奉行の大役、意の儘にも行け難く誠に餘儀なき次第にござります、アゝ誰をか恨みませうや、今日まで長年の間格別の過ちもなく相勤めましたは偏に君の御威光、今日限り御役御免を願ひたく御暇下し置かれなば有難う存じます』る、最早此上は山間に身を避け光風霽月に心を清め、君の御武運長久御家の安泰を祈り奉る、愚息兩人は何卒御館に奉公したくそれのみ願ひ上げ奉ります』と言葉は一段悲痛となり、涙を含んで兩手を支へ頭を垂れた、お聞き遊ばして居つた綱宗公、何と感じたか其座を立ち、ア、……忠なる哉原田、義なる哉甲斐、汝はお父上の御代より幾久しく御鍾愛に由つて江戶國總奉行職を勤め、今日まで汝の行ひし事皆我家のためならざるはなく一つもなし、三平は嫉妬偏執より汝を謗る、惜むべき奴は彼なりと仰られた、

皮膚科 外科 專門 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二二五八番

クオル 錠戶タオル 滿鮮一手販賣 京城若草町四〇 卸商 上月商店 電話一〇三五番 振替京城五三三一番

全州片書

全州守備隊は二十三日を以て全州を引揚げ歸國の途に就くと云へり同隊は騷擾鎮定の命を受け全州に來りし以來其間全州の土地に貢獻した事は僅かならぬものがある吾人は其の送別會を開催して其の勞を慰めたいと思ふ▲新任全州郵便局長平氏著任早々凡てに就いて攻究しつゝあるが近く公設質屋を設け市場に臨時警官出張所を設置し一般保護の任に當らしむる由▲其他公衆衛生諸般に就ても施設を講じ能く手が届くのは切に感謝に絕えぬ▲全州では今回米穀商組合が成立され組合員相互の懇和を計るさうである尚ほ米穀檢査員を置いて檢査の任に當ること云ふ事は頗る好い事だ前し或る商の話に依ると全州で檢査を受ける米は僅少で一箇月千俵あるかなしといふ事だがこれでは常に困難を感ずるであらうが兎に角成立は喜ぶ可き現象である

十月五日 日曜 （舊）八月十二日

四綠▲迂闊に物の出來ぬ日
五黃▲平運可もなく不可もなき日
六白▲親切の先方に通らぬ日
七赤▲不急不要の事多き日
八白▲身の廻りに注意する日
九紫▲吉慶集まり來るべき日
一白▲愉快な日にて物の運ぶ日なれど錢の出入に注意の事
二黑▲熟考の上に取掛るべし
三碧▲嬉しき便りのある日にて思ひ立ちし事は行ふて吉

商況

株式

東京株式（至急電報）

●三日前場大引		前場比較
東株	四九九、〇〇	四、〇〇高
同新	四三九、五〇	三、五〇高
滿鐵	一九二、一〇	二、〇〇安
一新	一八七、一〇	一、一〇高
二新	一六一、六〇	二、五〇高

京城現株（標準相段）

銘柄	拂込額	時價（▲印騰貴 △印下落）
仁取	二五、〇〇	一五三、五〇
朝郵	二五、〇〇	四二、〇〇
電興	一五、〇〇	一九、五〇
皮革	三〇、〇〇	二六、〇〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇
京紡	一二、五〇	三一、五〇
朝紙	一二、五〇	三五、五〇
商銀	五〇、〇〇	五八、〇〇
同新	一二、五〇	一八、〇〇
滿毛	一二、五〇	六六、〇〇
滿糖	一七、五〇	▲四八、五〇
朝煙	五〇、〇〇	三一、五〇
鮮鐵	五〇、〇〇	七二、〇〇
鮮土	一二、五〇	二三、〇〇
東亞	二二、五〇	四四、五〇
藥賣	三二、五〇	△三四、〇〇
仁倉	三二、五〇	一五、五〇
製粉	三二、五〇	一九、〇〇
朝日	三二、五〇	一五、五〇
朝絹	二五、〇〇	二三、五〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
滿鐵二新	一四三、〇〇	五〇
南滿製糖	一四八、五〇	四〇〇
商船新	一四一、〇〇	一一〇
仁川取引	一五四、〇〇	七〇
殖產銀行	一〇五、〇〇	六〇〇
朝鮮紡織	三二、二〇	四三〇
關東陵新	六〇、〇〇	二〇
東京新	八二、〇〇	一〇〇
郵船新	一五五、五〇	一〇〇
東亞	四四、七〇	二五〇
滿蒙毛織	六六、〇〇	七〇
日清紡績	一六〇、〇〇	五〇
朝鮮煙草	三三、〇〇	五〇
朝日醸造	一五、〇〇	八〇
東洋藥賣	三四、〇〇	五〇

作るも一般の觀測は其の影響弱說有力なる有樣に昨今の値は好個の買場なりとの觀念を懷かしむるに至り形々買氣を催ほしたるもの之如く昨日百五十四圓にて七十枚の手合せありたり

東株小反撥

東株は二日前場に於いて僑十七圓十六圓方崩落を演じたるが二日買人氣に今朝稍引返し舊四圓高新三圓五十錢高を入れたり

滿鐵二新高

東京今前場の滿鐵株は舊株二十錢安一新十錢高に過ぎざるも二新のみは特に高く二圓五十錢高の百六十一圓六十錢となれり

滿糖益々上伸

南滿製糖は其後益々高く內地より五十四圓の買電頻々たる有樣なるも砂糖の再び世界的需要を傳へらるゝ折、今一段の高値を見越して容易に賣應ぜざるが如く昨今の手持利喰品にして賣品カスレ狀態となり新規の買付困難となれりされば昨日より本日に亘る取引平均値は四十八圓五十錢處なるも中には五十一圓五十錢の高値商內さへ見るに至れり

紡績株買人氣

相當に値は昂まつて居るけれども綿絲も引續き强硬の商狀を示し且つ大會社にして明年中の製品は高値にて豫約を了し居れるもの多少なからざれば當分は增すも減ずるが如き事はあらざるべしこの見越より安心して尙且つ相當の利廻りになるゝ事業の計畫行はるべきを豫期し目下の紡績株に對する買氣は毫も衰へず安ければ買はんとせる向多けれど紡績株は時に利喰の爲めに引緩む事あるべけれども結局は尙ほ買上げらるべきものと一般に觀測せられつゝありき

電話增設 二貳五七番 京城南大門通一丁目 公債株式現物問屋 浦長商會 電話長一七三七

滿蒙人氣落付

滿蒙毛織は一躍六十五六圓處へ昂騰以來當地にても一時滿蒙株爭奪戰に人氣沸騰したるが其後相場の落付きたると品カスレに昨今市人の之を口にする者漸く減少するに至れり

月初大混戰

新市發會當日の大阪市況は一般の期待を裏切つて意外の大暴落を演出したり右に關しては或は通貨の收縮說が唱へられ將た物價の調節が具體化せんとすとも說かれたれども標準ありなど稱せられたれども素より確實ならず一說には鄭家屯事件の端を發せるに徵して伊太利政府が戰後の海運發展策として東洋航路を開かんとする決意ありこれが爲めの影響なるべしとも傳へられたるも以て具體的材料は捉ふる事能はざりしが只斯くて市況は本場の一ト場に於て同じ千口にして賣買一定せず大混戰を呈したる次第なるが爲めに大東京相場がアト如何なる形勢を採じ來るか不明なれども一般の人氣狀態は之れが爲めに特に頻る悲觀へされたりと云ふ程には至らず却つて從來の味覺へに此の暴落を以て抑目視する傾向も見ゆるのもされば再び買上げらるしものとすることなるべきかと（二日）

仁取の買氣

仁川取引所株は今期の配當三割に過ぎざるも其の內容業績は實に東洋一の名を辱しめぬ程にして若し之れが內地の定期市場に上場され居るとすれば諸株高の二百圓以上の吹値は外れざる所昨今上取株等に比例して少くも入金値還も愈、次期決算に於て完濟する運びとなり居れば其後の業績にして向今日の狀態を持續すさせば年二十幾割の利益を擧げ得べく從て株主配當の如きも十割內外は可能となる譯なるが只問題は釜山取引所出現後も向今日の商盛を保ち得るやに

北濱だより

發女挪の名を變へたに等しい稱ある三越の榮元は初日から大入滿員で▲表から景況を觀いただけでも景氣の素晴らしさが察せられる▲サテ株式の相場に何もあつたものかと株式の材料に供せられる▲之れでは物價調節も市場の關者で今宮や難波の一部になる貧民窟を覗いて來た者の話を聞かぬから偖うした氣になるのも免れない▲貴族院の物價調節の警告問題も從來の實例の如く何かに徵してもドウせ大したのではあるまいとタカを括る一方には通貨の膨脹止まない▲が爲めに愈々其氣になり易い▲が資本家としては可成りに頭痛の種なる八時間勞働が隨所の工場で實施せられやうとする傾向を見は勞働運動の潮勢を輕く見て▲從つて勞働者の對照たる富豪や貴族代表者も此際政府に警告位ゐをやつて居る譯にも行かない一方の立場して置く事は却て自己擁護の一端たりはせぬかと裏を觀かれても餘り輕く見て居る事も不安なので▲結局之からの相場は人氣の具合で常に大きな波瀾が醸かる事になるだらうと

米況

東京期米特電

●三日前場
當限寄付 三十九圓十九錢
中限寄付 三十八圓六十錢
三日前場
寄付 三八、五五

大阪期米特電

●三日前場
當限寄付 四十一圓三十錢
中限寄付 四十一圓六十錢
九節 三十九圓三十六錢
九節 三十九圓七十九錢
三日前場 三八、五一 三八、九四

下關期米特電

三日前場（晴）安買旺ん

仁川期米

三日前場（慘落）

前日引際阪地の氣丈に刺戟されて手堅く打止めしも引跡內地筋二回豫想六千九百七十五萬七千七百二十五石と發表に賣方愈々樂觀して大阪五十丁の安氣配を移し重ねて今朝も天候は西の風に晴天を續け秋上日和は一入買方の氣勢を殺ぎ立會は當限四十二圓四十五錢より三十錢叩かれ目先利喰ひに九十錢と盛返し中限四十一圓六十錢より十九錢と買方一派一心膽を寒からしめしが目先の利喰ひの防戰に二十二錢と締り先限は寄付三十五錢と二十丁の慘落を演じ目先利喰ひに四十二錢と盛返したが

軟派賣崩す

前日來場面軟弱に傾きて中限に多額の買建を有する買方一派の傍觀的態度は種々誤解を招き提灯連の鞘取り人氣の折柄內地米收穫豫想の增收發表に阪神五十丁安の氣配を移し軟派の材料續出に他人米ある筈の賣方も形勢を觀て賣方の搾取りとなり目先筋の押で角力を取る目先筋は好機逸すべからずと猛烈に賣崩し當限買叩きしかば買方も賣方も一入不勢を示し投げ退くより場面は手控への姿

市場雜觀

昨後場の商勢を眺めた軟派の眼からは買方滿腹か又は尻拔けにならしめて居るこでも他店から現はれ目先の利益を見越して目先の賣方が一派に當る思ふ樣な意思地の無い場付で有る

米作豫想と人氣

朝鮮第一回米作豫想は前報の如く一千二百六十萬五千八百八十八石にして前年より一割六分四厘の減收を示せるが旱魃被害の激甚を帶びされ割には減收の程度案外輕微なりしと言ふべく

京城正米市場

頃日來漸次鄭重歩調を辿りし地場正米も第一回米作豫定は內地一割一分五厘の增收を發表せら

仁川米豆取引所仲買人 福 仲買店 電話一五八 九番

仁川正米市場

當地正米は期米の崩落に引摺られ十二圓六十錢より十錢方の下落に其他合格品百八十一叺は四十圓六十錢に大武買に出來▲大豆は延百四十八叺の外長湍物若干の取引ありしが人氣は總じて强含みなり

大豆商內薄

大豆は多少望人あるも高値に見切り付かざると先商談進捗せず▲卸山三等物も二十四圓三十錢處にて市況閑散なるのみ

粟氣配呆げ

正米高と先物思惑により內地米強調なりし滿洲粟は此頃の發賣取引開始當日こて押に粟安を受け今朝は一頓挫の風情にて相當實物は無きに拘らず殆ど望人なく

白米依然迷離

白米は連日小締まりを續け原料との採算上割安に及び然し卸値は更に二三四十錢高の市中卸は一等米五十一圓丁度見るゝに至れり

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長一七〇番

釜山正米市場

內地期米軟弱を報じ且つ米作豫想の見込なると共に

肥料石灰精米石粉

京城本町二ノ九 電話三五〇 大正石粉工業株式

各地正米相場

釜山 仁川 三等正米 四十一圓 四十二圓 四十二圓

三品

●一日後場 綿布 一二三二錢 十月限 十七圓七十錢 十一月限 五八、五〇〇 十二月限 一月限 五四八、一〇 二月限

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 因 仲買店 電話長四四番 八三三

ホーカー液の
賣行激增率は
全世界の——

レコード破り

卅萬種の化粧品中實に第一位

僅々數年間にホーカー液の如く賣行の激增し且名聲の揚れるは他に見る事の出來ぬ所で三十萬種を包容する我化粧品界のレコード破りと稱せらるゝのみならず賣行激增率の高いのをホーカーレコードとさへ稱せられる程で有ます論より證據小間物屋さんにでも化粧品屋さんにでも羽が生えて飛ぶ樣な品はと聞けば化粧下としてのホーカー液と云ふに一致して居ります、それを以て見るもホーカー液が如何に品質優秀で、紳士や淑女の歡迎深いかを知ることが出來ます。まだお使ひなさつたことのない方は試しに一瓶使つて御覽なさい

面白いほど良く賣れる——色白く美人となる

ホーカー液

避暑歸りのお化粧には先づ
何よりホーカー液が第一

殘暑の日ヤケは何うして防ぐかと申しますと矢張今まで通り、朝夕ホーカー液をお塗けになるに限ります殊に避暑地歸りの御方には土地の變るため肌に變化を起す事がありますから朝夕一滴のホーカー液は新秋九月の化粧料として離されぬものとされて居ります、之さへお忘れなくばお顏の色は、いつもイキイキとした艶をもち、又此を化粧下としてホーカー白粉を塗ければ新秋に相應しいお化粧が出來ます

特長
◇色白くキメを細かにす
◇日やけや肌アレを防ぐ
◇白粉のノリノビを善し
◇顏の色艶を麗しくする
◇子供の肌を丈夫にする
◇髯剃後に剃刀負を防ぐ

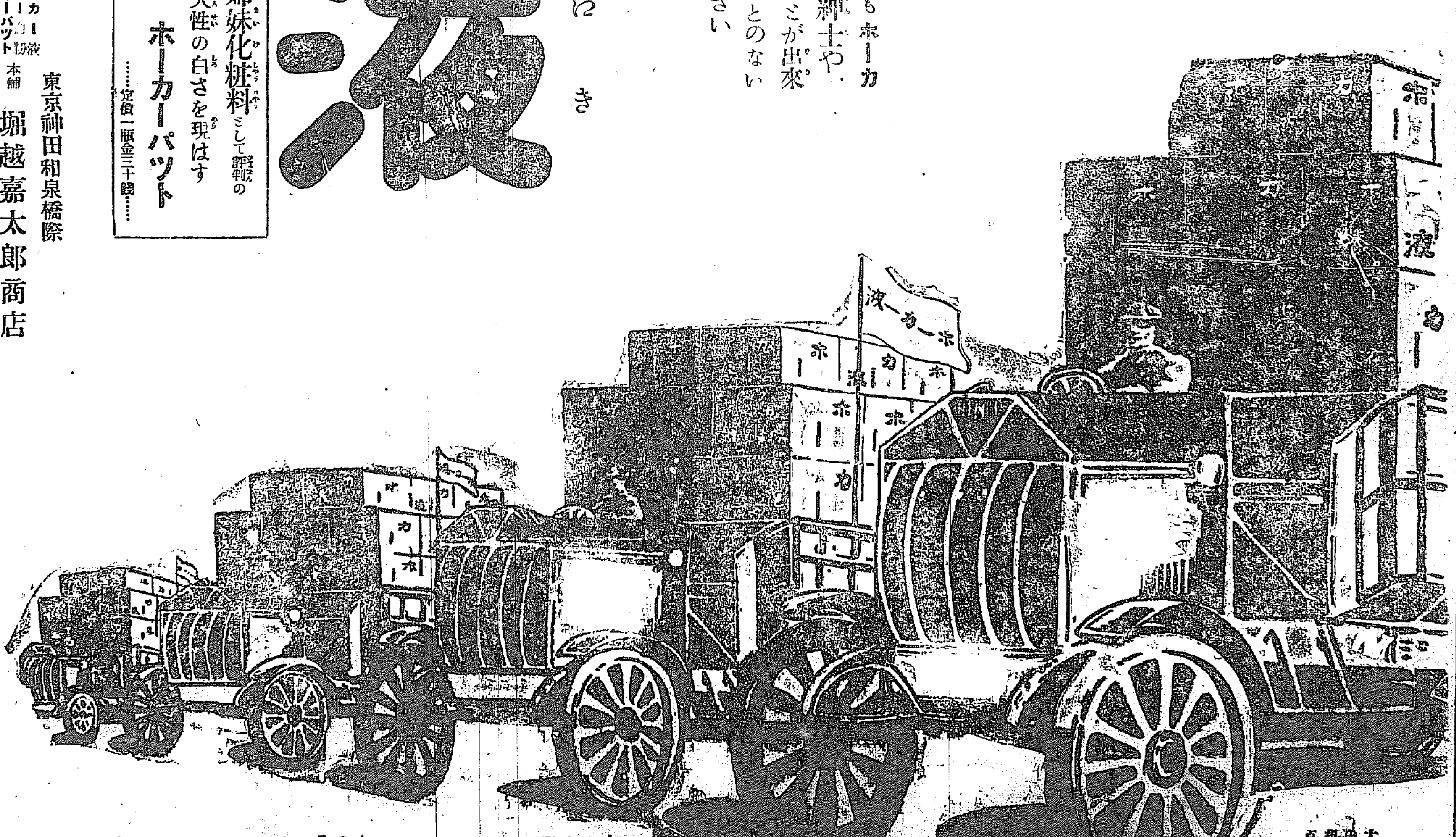
姉妹化粧料として評判の
天性の白さを現はす
ホーカーパット
……定價一瓶金三十錢……

▼全國到る處の小間物化粧品店、洋品店、藥店に販賣せり、若し品切の際は本舗直接振替か切手にて御注文あれ

定價 小 二十錢 中 四十錢 大 八十錢
送費內地六錢滿鮮四十錢

ホーカー液
ホーカー白粉液
ホーカーパット
ホーカー美髮液

本舗 東京神田和泉橋際
堀越嘉太郎商店
電話神田(長特)四三 四四 四五
振替東京 一五六



大正八年の製産豫想高一三百五十萬ダース
大正七年の製産高一百五十萬ダース
大正六年の同上一八十萬ダース
大正五年の同上一五十萬ダース

京城日報
(年中無休刊)
[illegible]

京城日報 教育瑣言

朝鮮の教育を如何にすべきかといふことは、非常に重大な問題である。朝鮮人の希望には、内地人と同一の學年、同一の程度を希望して居る樣であるが、此の如くして被教育者の範圍を狹くして差支ないか、或は此の程度で、一躍普遍的にする方が可いかは、慎重に考慮しなければならぬことであるが、此等の問題は暫く擱くも、現在鮮人教育の内容に随分缺陷の多いことは、少しく内情を知るもの、皆一樣に認め居る所である。就中徳育に就いて教育者も戸惑して居れば、被教育者も盲從する所に迷うて居ることは眼前の事實である。

吾人は曾て鮮人兒童に徳育を施すに、内地の兒童に臨む樣に教育勅語を文面通りに注入することの無謀なるを戒め、宜しく其の御趣意の在る所を闡明し、孝悌を以て第一義と爲すべきことを陳べたことあると記憶するが、さて其の教授材料を構成するに就いても、十分考慮を費し、鮮人兒童に感化力を與ふる最も強き物を選擇しなければならぬ。否らずして内地同樣に日本の歴史、日本の傳説のみに據ることは、殆ど其の効果を奏することができぬ。鮮人兒童は其の家庭に在りて、朝鮮古來の偉人高士の話も聞けば、又支那の英雄豪傑の話も聞いて居るから、之を無視して教育を施すといふことは、甚だしき無謀である。獨り徳育の教材のみならず、讀本の教材も亦鮮兒に親しきものを採らなければならぬ。此邊のことに就いて現在の教育が果して缺陷がないであらうか。

又鮮兒に對して忠君の觀念を注入することも、實は大に考へものである。朝鮮には自ら朝鮮の歴史があり、此の歴史に涵養せられた根本思想の潜在することを決して忘れてはならぬ。今若し普通學校の兒童に向つて、汝は君恩の如何なるものたるを知れりやと問はゞ、其の中の或者は時に吾人の期待せる如き答を發する者もあるだらう。然しながら是れ蓋て教師に注入せられた所のものを機械的に吐き出すばかりで、決して衷心から感じて居るのとは受取ることができぬ。眞正に君恩國恩の如何なるものたるを會得するまでには、前途幾多の年所を經なければならぬことは、多少朝鮮の事情に通ずるもの、皆認める所である。本年三月の騒擾の際に、眞に一通りの教育を受けた青年學生に始まつたといふことは、十分考慮しなければならぬことである。

國語教育はいふまでもなく大切なことで、現在教育の生命は殆ど是に在りといつても可いが、國語の普及のみに由つて鮮人同化の實を擧げ得る如く考ふるは是も亦夢想に過ぎない。國語の教育は鮮人の實用的知識を授くるものであるとの心持で以て施し、餘り大きな希望を繋けぬ方が宜しからうと思はる。畢竟鮮人同化といふことは『時』の大なる力に頼るべきもので、決して功を急ぐべきでないと深く信ずるのである。英國の印度に於ける教育方法が、最も適當な重きを置きつゝあることは、我等の鑑とすべき事實であるが、印度人を同化するに就いて、幾何の功果を奏し得ぬことは、參考とすべきである。

之を要するに教育行政は十分改善の餘地もあり、又之を改善しなければならぬことは、いふまでもないが、それよりも先に教育の内容を改善することが一府の急務であらう。而して上記の二三の點の如き、切に當事者の考慮を促したきものである。

朝鮮歴史古蹟調査に就て (一)

京大教授 三浦博士談

京城中の京都帝國大學教授文學博士三浦周行氏(總督府囑託)は二日夜往訪の記者に對し朝鮮の歴史及古蹟の調査に關して從來内鮮人間に誤解され居ることも少なからずとて左の如き意味の談話を試みたり

今春の騒擾以來我が總督政治に對する鮮人の意見として内地の新聞雜誌に掲載せらるゝものを見るに、其の中には比較的に事情を知れる余輩をして首肯せしめ、同情を寄せしむるものなきに非ずと雖も、又全く是等の誤解僻見と思はしきものも往々にして是れあり。殊に『官府が古蹟調査と稱して陵墓を發掘し寶物を奪ひ去ること』云ふの一條の如きは、事實を誣ふるの甚だしき余輩其の意の那邊に在るかを知るに苦しむ。而も市に三虎を出すの譬の如く、事情を知らざる者は遂に是等の浮説に誤らるゝに至らんことを恐る。余輩は去る大正五年『朝鮮半島史』編纂の囑託を受けてより茲に四年、古蹟調査に就ては直接に關係する所なきも、事業の性質上互に相關聯するを以て、總督府が取れる態度の如何なるものなるかを知るに於て人後に落ちず、且つ此機會に於て聊か其の意見を陳ずるも無用の業に非ざるべし。

古蹟調査が記録の攻究と相俟つて歴史の研究に必要缺くべからざるものなるは今更云ふを須ひず、而して朝鮮には舊韓國時代より古蹟調査事業ありしが、總督府に至て稍大規模の下に年々巨資を投じて全道の古蹟を調査し、古墳を發掘して其遺物を研究することを數年繼續し來れり。此等は周到なる用意の下に組織的に行はるゝ處にして、調査終了の上は悉く原形の儘に埋藏せられ、出土品の主なるものは京城の總督府博物館に陳列して學界の研究に供するのみならず、朝鮮古蹟圖譜を續刊して是を世界に公表し、是等の遺物を朝鮮外に出すには嚴重なる取調を經べく、容易に内地其他に輸出するを許さざるなり。然れば總督府は古蹟遺物の保存をこそすれ破壞するものに非ず、唯古蹟の發掘に就きては從來地方民の迷信誤解に基く怨嗟の聲あるを聞けり。此點に就きて統治の局に當れる人より其の苦衷を聞きしこともあり、縱令其理由の薄弱なるにもせよ當局者としては宜しく慎重に考慮すべきことなるべし。

生別死別

=不許無斷興行=

服部硯月

第十四 手がかり

井上は恒田が自ら砥上に贈つたと聞いて更に新事實を得たにも雀躍した。けれど不審は却つて其の度を増した。

『では砥上君には貴所が直接にお手渡しなすつたので？』

『直接に手渡しこそせんけれど直接も同じ事だ。何日だつたか日は忘れて居らんが、僕が麻布の砥上の家に行かうとすると、都合好く文部省の小使が來たらうぢやないか、顔を能く知つて居る奴で、何處へ行くかと尋ねると、砥上の家に行く所だといふ。こりや旨い具合と其の小使に頼んだのだ』

偕こそと井上は頷いた。が素知らぬ態度で

『手紙も入つてゐるのを途中で小使に……』

『僕が行くと、夫れと感付いて受取る筈がないの、戻すのと事が面倒になるから、賄賂なんて云ふものは成べく間接の方が好いからね、尤も賄賂と云ふ罪が他人に判つては可かんが……』

『併し今度砥上が起訴になつたのを見ると、其の小使が砥上に渡さずに自分が横取りしたのかも知れんぢやありませんか』

『其の氣づかひは斷じてない、反物の中に折込んで上に封がしてあつたのだから、水引が掛けてあつたのだから反物ぐるみ取れば兎も角、中身だけ取る氣遣ひはない、夫で多少氣に懸つたから、其の後小使に逢つた時、訊いたら確かに渡したと答へた』

『少し變だなア』

『何が君變だ？』

『いや、此方の事ですがね、僕は其の小使は何と云ひましたかね』

『何とか云つたよ、わゝと清水とか云つたッけ』

『へゝ、今も役所に勤めてゐるのですか』

『彼所の店を退いてからは、僕も文部省に出入しないから其の後は知らんよ』

井上の瞬迫が餘り劇しかつたので、恒田は如何にも不審さうに調子も少し荒かつた。

是丈け聞き出せば井上には今日の散財も徒勞にならなかつた。寧ろ獲物に比べて費が少かつた位である。井上は手を鳴らして女共を呼んだ。廊下を蕩しかして來たらしいお芳が四五間先から賑かな返辭をして這入つて來た。

『何だいお前達は、お客樣を閉いてツけぼりにして？』

口には云へど、心ではお蔭で大切の秘密を聞き得たと感謝してゐる。お芳の方でも話の筋は分らないもの、委細心得てゐるから此の厭味も別に氣に掛けもしない。

『餘りお話がはづんでらッしやるもんですから、故意と氣を利かして上げてたのぢやありませんか、おほほほ、お話は庚申の晩に譲つて、少し騒がうぢやありませんか』

『併し大分遲くなつた、佐野君もう歸らうぢやありませんか』

『では今晩は是でお別れしませう、愈々開店の運びに到りましたら改めて上京します、其節は何分にも』

井上は好い加減に挨拶して後を濁した。聞くだけ聞けば、今は強ひて止める必要もない。

二人は愛相の好い聲に送られて門を出て、右と左に別れた。

パイン万年筆

京城日報代理部

竹内猷郎編著　發賣元 東京神田表神保町 東京堂　全國書店

七版 袖珍 新聞語辭典

世界改造の新時代に處するの士は本書を備へよ

本書は民本主義デモクラシー プロパガンダ等の新語を始め勞働組合 同盟罷業 サボタージ 政治外交經濟財政法律文藝商業等專門語より新聞紙上に現はるゝ新語を網羅し且英語を挿入したれば和英辭典を兼ぬ最新の好著なり

雜誌考へ方主幹 藤森良藏著 (正編百七版 續編二十三版)

改訂新版 幾何學 考へ方と解き方

塚本哲三先生著 (改訂第八版)

漢文の學び方考へ方と解き方

發賣所 東京市日本橋 青野文魁堂

安東銀行新株募集

當銀行は大正八年七月二十九日株主總會ノ決議に基き株式會社安東銀行と合併し資本金五拾萬圓を參百萬圓となすに付其増加資本金に對する新株五萬株の内四千株を左記要項に依り公募致候間左記取扱所へ御申込被下度候也

追テ詳細ノ事項及申込證ハ各取扱店ニ御照會被下度候

募集要項

一、公募額　金貳拾萬圓
一、公募株數　四千株
一、申込單位株數　五株
一、申込價格　金六拾圓以上
一、申込證據金　壹株ニ付金五圓
一、申込期間　拾月六日ヨリ同月拾日迄
一、募入方法　[illegible]
一、第一回拂込金額　金拾貳圓五拾錢
一、第一回拂込金及超過金拂込期日　拾月廿七日ヨリ同月三十一日迄

申込及拂込取扱銀行

[illegible]

大正八年拾月

滿洲安東縣五番通

株式會社 安東銀行

日本絹羊毛織株式會社株式募集

利益配當支拂保證

向貳ケ年間一割二分

日米信託株式會社 (資本金貳千萬圓)

一、創立の趣旨　歐洲の大戰は我國に幾多の教訓を與へたり產業の獨立原料の自給自足に就ては朝野共に憂慮しつゝあり、就中製絨原料羊毛の如き毛織紡績業の輸入に待つの現狀は帝國經濟上由々敷大事とする所にして本社は此の缺陷を補ひ併せて毛織紡績業の獨立進展を期せんとするの抱負を以て立てるものなり

二、毛織紡績の將來　我製絨業は近來漸く發展の機運に向ひ其原料輸入は實に五千餘万圓の巨額に達す之が原料產地たる濠洲南阿に於て一度輸出の制限又は禁止をなすことあらんか本邦製絨業の破滅たるや論を俟たざるなり然るに生活の上昇に伴ひ毛織物の需要益々旺盛を極むるのみならず歐洲大戰の結果彼の地製絨業の休止は毛織工場の大破壞と相俟つて製品の大缺乏を來し今後數年間は國家の要求に應ずることを得ざるの實況にして加ふるに本邦製品の海外輸出は將來到底益々殷賑を加ふるに至るは必然の情勢なるに鑑み本企業の如何に有望なるかを知るに足らん

三、政府の奬勵と樺太土地無料拂下　政府は前に緬羊飼育奬勵規則を公布し之が奬勵を圖り又樺太島に於て多年緬羊飼育研究の結果同島が世界有數の好適地なることを確認せられたるを以て同地に於て土地の拂下を受け内地と相待つて斯業の大進歩を謀らんとす

四、矢崎毛織紡績工場の繼承　矢崎工場は多年毛織紡績事業を經營せられ現に多大の利益を擧げつゝあり本社は其工場を極めて有利の條件を以て買收するの契約を締結することを得たるは本社の至幸とする處なり

五、配當保證　日米信託株式會社(資本金二千万圓)は[illegible]本社設立の日より起算し向二ヶ年間一割二分の利益配當を保證せり[illegible]

六、公募の理由　以上の如く有利確實なる事業なるを以て發起人及賛成人の引受株のみにて全株數に超過するの盛況を呈したるも事業の性質は國家的にして且政府奬勵の趣旨の存する處を察し少數者に偏するの弊害ならざるを思ひ茲に株式の一部を割きて公募に附し多數の協力に依り斯業の進歩を計らんとす

一、資本金總額　金五百萬圓
一、壹株の金額　金五拾圓
一、募集株數　壹萬五千株 (總株數十万株中八万五千株は發起人及賛成人に於て引受濟)
一、申込株數單位　拾株以上
一、申込證據金　一株に付金貳圓五拾錢
一、第壹回拂込金　一株に付金拾貳圓五拾錢 (但證據金併算す)
一、申込期間　自大正八年拾月壹日至大正八年拾月八日
一、募入決定方法　應募超過の場合は發起人に於て適宜決定す

▲定款目論見書及申込用紙は左記株式申込取扱所並に創立事務所に御請求被下度御申越次第御送付申上候

發起人總代　坂田實　木村庫之助

發起人及賛成人 (○印は發起人)

[illegible]

外一百二十名

株式申込取扱所

[illegible]

日米信託株式會社

日本絹羊毛織株式會社創立事務所

[illegible]

罷業益々劇し
猛烈なる長期罷業
英國政府と食料の配給順調也

英國鐵道罷業の形勢は其後別に變化なきも政府は一般的形勢の相改善せられつゝある事、食料配給の順調に進行しつゝある事及び各方面より援助申込の殺到しつゝある旨を發表したり、鐵道罷業の結果ウエールスにおける十萬人の炭坑夫は休業し鋼鐵工場は閉鎖されたりビリングスゲートの赤帽組合は復業したり機關士火夫組合幹事ブロムリー氏は今次の罷業が猛烈にして長期に亘るべきを豫想し居れり政府は鐵道罷業のため議會を延期したり(倫敦電報)

形勢稍々良好也

英國公報に曰く鐵道罷業の一般形勢は良好に向ひつゝあり政府の採用せる手段は滿足に行はれ食料品の配給は圓滑に進捗し居れり進んで政府の活動援助を申し出づる者は續々ありと又トーマス氏の言明に依れば罷業の形勢は其後何等變衰なく問題解決の爲め直接何等交渉行はれずと(倫敦電報)

坑夫會長の勸告

英國坑夫聯合會長スミリー氏はグラスゴーに於て演説し工夫の九割は鐵道罷業の結果として三日以内に已むを得ず休業するに至らんと述べ冷靜の態度を持して能ふ限り受動的行動に出づる樣坑夫等に勸告したり(倫敦電報)

遂に交渉斷絶す

鐵道從業員と政府との交渉は遂に斷絶し二十六日夜深更より總同盟罷業行はるゝこととなれり(倫敦電報)

坑夫罷業重大也
採炭製鋼悉く同盟罷業したり

英國にては鐵道罷業の爲め一千萬人の炭坑夫又罷業を起し鋼鐵工場閉鎖され事態愈々重大となれり(倫敦電報)

北部には復業者

英國北部にては列車運轉手にして復業者續出せり(倫敦電報)

獨逸の武備撤廢
講和條約に對する附加の條項

レーフエヴアー氏は獨逸の武備撤廢を有効ならしめんが爲め講和條約に對して一條項を附加するの件に關し政府をして聯合國との豫備交渉を行はしめんとするの動議を下院に提出せり右に對し首相クレマンソー氏は曰く政府はレーフエヴアー氏の動議の精神を承認するに際し之を以て獨逸武備撤廢問題につき聯合國との交渉を開始せしめんとする勸誘と見るべく條約に對して何等修正を行はんとするものとは認めざるべし政府は條約批准に先だちて斯の如き動議を下院に於て討議するを欲せず(倫敦電報)

鋼鐵罷業と作業

ベスレヘムに於ける鋼鐵業者聯合組合役員等は罷業命令に拘らず一切の工場に於て作業を行ひ居れる旨を主張すと雖も勞働者領袖等はベスレヘム大工場の作業不可能状態に陷りたる事實を斷言し居れり其他の工業中心地よりの報道に依れば同盟罷業者中大部分の罷業解業者を出だしたる譯には非ざるもピッツバーグ其他の各地方に於ける工場は再び作業を開始せりと(紐育電報)

問題の獨逸汽船

米國船舶局は獨逸定期旅客汽船八隻(インペラトル號を含む)の保留を聲明せりインペラトル號は既に英國船舶局よりキユーナード汽船會社に分配したるものなれども米國船舶局の陳述書には此等の船舶は講和條約規定の下に米國に分配せられたるものなることを斷言せり(華盛頓電報)

慘たる墺都の飢饉

倫敦電報に依れば維納に於ては食料品及び燃料缺乏し爲め困

甚だしく墺國政府は國家破産を宣言し同國の統治を維納に滯在せる聯合國委員に引渡さんとしつゝあり(シドニー電報)

國境二週間閉鎖

羅馬來電=墺伊國境は向ふ二週間に亘り閉鎖されたり(巴里電報)

ダ氏を倒せと
示威運動始る

伊國社會主義者は公會を禁止せられたるに反抗し且ダヌンチオ氏のフユーメ遠征に反對の意思を表示するため示威運動を行ひたり彼等はダヌンチオ氏の行動を以て新に戰爭を惹起せしむべき國家主義者の企圖なりとして『レーニン萬歳』『ダヌンチオを倒せ』と絶叫せるが遂に軍隊の爲め解散せしめられたり(巴里電報)

ダヌンチオ氏宣戰か

ダンヌンチオ氏ユーゴースラブに對し宣戰を布告すべし(倫敦電報)

諾威國も聯盟

諾威は國際聯盟に加入する事に決定せり(倫敦電報)

不規律なる過軍
赤衛軍とマジャール人の確執

赤衛軍隊中の兵卒は益々不規律の度を加へつゝあり是れ過激派政府は今や兵役免除に關する以前の條文を廢し例外なく就役せしめつゝあるがためなりと捕虜の談によれば赤衛軍とマジャール人との間に確執ありマジャール人は望郷の念に驅られ赤衛軍に編入せらるゝことを肯ぜず亦農民一揆鎭壓の爲に派遣されたる軍隊の一隊も同樣の希望を表明せる結果過激派政府は讓歩を餘儀なくされマジャールの一隊は既に歸還せしめたりと(オムスク電報)

西伯利亞と我軍
俘虜二千二百名以上外鹵獲品

西伯利戰況によればヤルトロウスク方面の我軍は終にトボリ河畔に達したり此方面の諸戰闘に於て二千二百名以上の敵兵を捕虜とし機關銃六十三挺と多數の軍需品を鹵獲したり又クルガン方面鐵道以北に於ける我軍はトボリ河の東方六十露里の地點に於て激戰あり我軍は著々進軍しクルガンの東方四十露里の地點に達せり(哈爾賓電報)

寬城子事件交渉
東三省巡閲使に著したる電報

東三省巡閲使より中央政府に達したる電報に依れば廿六日交渉委員闞湘清氏を派し赤塚總領事と寬城子事件に就き交渉せしめたるが其の際『支那側が日本に對し謝罪すると同時に日本よりも支那に對して遺憾とするの意を表せられ度し』と要求せしも赤塚總領事は是を拒絶せりと察するに寬城子に於る日支軍隊の衝突は英米兩國領事の調査せる所に依れば曲は單り支那側にのみ存せず支那政府既に讓歩して謝罪せんとするに方り日本亦是れを諒とし相當の禮儀を表するを至當とすべしと(北京電報)

過激派陰謀發覺

過激派無線電信に依れば莫斯科に於て過激派に對する陰謀暴露せしが立憲民主黨並に社會革命黨を始め總ての政黨之に加はれり彼等は總てデニキン將軍及びマルモントフ將軍と關係を結び居たり過激派は捕縛に着手したるも今や其根柢の極めて深くして容易に此連累者全部を捕縛し得べからざるものゝ如し(オムスク電報)

督軍の職制改正

三省巡閲使職權は前清國に於ける三省總督の例に倣ひ省長を督軍の兼任とする事とし從來督軍の兼ね居たる奉天及び黑龍江省と吉林省長郭宗熙氏の辭職請願を機とし今後は再び省長の任命を爲さず督軍をして是を兼攝せしむる事に決せりと(長春特電)

英軍西伯利退去

西伯利に出動し居たる英國軍隊は哈爾賓を經由して續々浦鹽に向ひ歸還の途に就きつゝあり(哈爾賓電報)

滿洲の獨逸領事

獨逸は哈爾賓と奉天との二箇所に領事館を設置すべし(北京電報)

西藏問題研究

總統府内に西藏問題研究課新設する(北京電報)

楊交渉使斡旋

上海交渉使楊以德氏は南北代表及び各領事を招待饗宴せり(上海電報)

京阪間の郵便飛行

東京大阪間の郵便飛行は愈々四日午前八時開始すべし(東京電報)阪神郵便飛行は四日朝第一機は午前十時半より同十一時頃迄に出發すべし(同上)

駐日獨逸公使

駐日獨逸公使はフリッツテールに決定したり(倫敦電報)

東京諸株暴落

買過ぎ反動安にて諸株暴落す(東京特電)

總督實業家招待

齋藤總督水野政務總監は既報の如く二日午後七時より總督官邸に於て全鮮實業家三十餘名を招待したるが當夜宴會に入るに先だち齋藤總督は朝鮮將來の統治方針に關しては過般諭告訓示を以て發表する處の如く一視同仁の聖旨を奉體し時勢の進運に適當なる改正を期するに在るも政治の事は政府の力のみにて爲し得べきに非ず乃ち民間有力者殊に長く朝鮮に在住し其事情に通ぜる各位の援助に待つの要あり何卒腹藏なく其意見を披瀝して爲政の參考に資せられん事を望むと挨拶し水野政務總監は更に之を布衍して官民協力一致の必要を縷陳したる後食堂に入り席上美濃部鮮銀總裁は一同を代表して謝辭を述べ主客互に乾杯して健康を祝し歡談の後九時半散會したり

豫算再調結了

總督府來年度の豫算案は過般來連日局部長會議に於て總督政務總監臨席の上再調査中の處三十日の會議にて一先づ結了したり其内容は未だ詳報の自由を得ざるも警察費に於て數百萬圓の増加を見るべく其他教育費に於ても人普通學校の増設案は來年度より八箇年の計畫なりしを四年に短縮し即ち大正九年度に五十校設置の豫定を百校設置に改定の方針を執り補助額を計上する事とせり其他衞生費各事業費の増加する者少からず一方關稅の撤廢と共に歲計收支上調節を要するは言ふ迄もなく河内山財務局長は此等打合せの爲め中旬頃上京する筈なりと云ふ

時流に並行して進まん
工藤新任京畿道知事談

新任京畿道知事工藤英一氏は前任地に於ける事務の引繼一切を終り三日午後七時二十五分南大門驛着列車にて夫人同伴着任直ちに和泉町なる官舍内務部長官舍に入れるが氏は京義線車中に語りて曰く『任地平安南道に在任する事既に二年有半に及びたり著任當時と今日とを比較回顧すれば西鮮地方近時の發展は驚く可きものあり平壤の如き三四年前一萬に及ばざりし人口も今日既に二萬を算し家屋の増加を告げ目下建築中の二大會社竣工の日は更に入口好調を呈す可しとの事なり殊に大同江の水の便と石炭の供給とは朝鮮に於ける

大工業地として

多望なる將來を有せるものと見るべし西鮮一帶の旱魃被害は地方に依りては甚だしきものあり同地方の食糧は平年に於ては略自給し得べく農民は米を賣り粟を購ひて常食とせるが爲め相當他に米の輸出を爲しつゝあるの狀況なるが本年は

滿洲粟輸入多量

にして適當に之を節約するに於ては旱害を救ひ得べし地方民の努力に依る收入を計る爲めに事業を起すことは最も必要なるも目下適切なる計畫も無し斯の如きは相當大規模に行はれざれば價値なく普通の事業は唯局部的となり被害民全體に亘る事は困難なり京城は朝鮮に於ける總ての中心にて著任後の事務は多端を加ふる事を覺悟せり

今後の方針の就て

は著任の上篤と研究の上施設せんと欲す事態は時代に依り或時は沈滯又或時は蠕動し暇無き急轉を爲す政界に經財界に又思想上に及ぼすものなり何事も時流に並行して進む事を旨とせん』

麥粉製造業近況

麥粉製造業は最近支那に於て長足の進歩を呈せる工業の一にして千九百十七年に於ける輸移出總額四百三十七萬五千五百十七擔に達し此價格一千五百四十八萬五百二十一海關兩にして其内中支那よりの輸移出高は三百三十九萬三千擔此價格一千二百六十八萬二千八百九十海關兩に上れるが之を主要輸出港に見るに上海は八割七分六厘漢口六分三厘鎭江八分一厘にして主なる輸出先は露西亞英吉利及び歐洲等なり主要製造地は上海に於て新式工場十六を有し一晝夜の製產額三萬五千袋と稱せられこの外漢陽四工場漢口三工場江浦無錫鎭江南京等を合せて十五工場此製產額二萬五千袋を下らずして將來に於て屬望すべき事業と觀測せられつゝあり

教育施設講習會

文部省にては十月六日より同十四日まで八日間東京教育博物館内に於て教育觀覽施設講習會を開催し博物館陳列場動植物園水族館の從事員學校長及び教員圖書館職員教育關係の官公吏に對し聽講を許すべきが朝鮮に於ける希望者は既に會期切迫せるを以て此際至急總督府學務課に申出づべしと

京畿夏蠶成績

京畿道管内に於ける本年夏蠶狀況を聞くに飼育戶數三千百十九戶掃立枚數二千九百廿三枚にして此收繭額六百石なり前年に比し掃立枚數及び收繭額の減少を見るに至れるは干魃に依り桑葉の供給潤澤ならざりし爲め飼養を抑制せるに因れりと

殖銀拂込通牒

殖產銀行に於ては新株第三回拂込を十一月四日より開始す可きが同行にては今三日附各株主に對し夫々拂込通牒を發したり

水野總監別宴

水野政務總監は三日午後七時より

鮮滿片々

沙里院の電話

沙里院市内の電話架設工事は豫て計畫中の處客月末より實測に著手したからその開始を見る十月末となるべく遲くも十一月の初旬には通話開始が出來るやうと云ふ(沙里院)

普通學校開校

虎疫蔓延のため小學校と共に第二學期の授業を休み居たる普通學校は市中の患者も頗る減少し病勢も僅少となつたから十日頃より授業開始をなす筈(沙里院)

平南の畜牛數

本年一月より六月までの調査に依れば平南の畜牛數は九萬五千六十六頭であつて昨年末の調査による九萬二千百九頭に比し三千頭の増加を示して居り畜牛飼養戶數は七萬九千三百戶である(平壤)

土地熱下火

一時土地熱が非常に高まり土地の處分無方針なりしと同時に融資者の資金融通放漫なりしとによつて土地の價格は非常に騰貴したが近來その反動として銀行の金融引緊めにあひ漸く下火に向つて來たやうで賣買登記件數が稍減つた(大連)

市會議員詮衡

次期の大連市會議員中十五名の官選議員選任に就き目下大連民政署に於て詮衡中であるが前回

開原粟作不良

開原附近及び奧地の粟は近來品質不良で開原への註文は甚だ少く四平街方面の品物を買つて代へられてゐるが本年は播種期に雨が少量であつた爲一般作物の生育がよからず就中粟の被害は大きく結局六分作であらうと云ふ(開原)

大連車馬賃引上

諸物價の昂騰に連れ大連の車馬賃は約三割方上る事に成り大連民政署に出願中であるが多分十月初旬より實行する事と成る(大連)

大和町官邸に於て齋藤總督の送別の宴を張り青木部長、東條海軍少將、守屋伊藤兩秘書官等列席したり因に齋藤氏は五日午後七時五十分發汽車にて家族同伴東上の筈なりと

工藤道知事

京畿道知事工藤英一氏は三日午後七時五十分南大門驛著列車にて著任せるが驛頭には千葉第三部長以下京畿道廳員其他有志多數の出迎へありたり

◎矢野氏送別會

在勤四年有餘龍山の發展に貢獻する處尠からざりし龍山憲兵分隊長矢野助藏氏が昌德宮警察署長に榮轉したるより龍山官民有志は近く盛大なる送別會を催すべく目下協議中なり

◎榊本氏退官

遞信副事務官橋本欽四郎氏は十九日附退官せしが氏は辭職後東京若尾銀行に入るべしと

水野總監微恙

水野政務總監は二日夜以來胃腸を害し多少の發熱を伴なへる爲め三日は引籠り療養中なり

大阪財界便り

灘清酒現在高

去る八月中の灘五鄕に於ける清酒藏出高は合計は二萬九千七百六十八石餘にして前年同期に比し三千八百七十四石餘の增加なるが八月末日現在し清酒高は合計三十四萬一千五百九十二石餘にして前年同期に比し二萬七十三百四十六石の減少なり本年は概して出荷増加し一般の好景氣に連れ酒價騰貴の模樣なるにも拘らず一般の需要が増進せるが各地藏出に取り現在高は左の如し

▲清酒藏高 西宮五、六八九石餘▲今津五、四四〇石餘▲魚崎六、一八五石餘▲御影七、八六八石餘▲西鄕四、五八四石餘合計二九、七六八石餘

▲清酒現在高 西宮九八、四八六石餘▲今津四五、二三六石餘▲魚崎四七、一三二石餘▲御影九四、八〇八石餘▲西鄕五八、九四八石餘計三四一、五九二石餘

夏物取引開始

來年の夏物なる縮緬等の木綿類は最近商人と織元との間に豫約的買成んに行はれ居れる由にて來年の好景氣を見越せしにや意外の高値にて本年夏物の最高値に比し一割五分高なりしは驚くべき好況と云ふべし

桐材の昂騰

昨年以來の需要頓に増加し内地桐の如きは市場産地共に漸次品薄の狀態を示し市價著しく昂騰したるが其結果比較的割安なる支那桐の需要將加を來せしも之れ亦戰前に比し可なりの騰貴を見たるが由來支那桐の常に銀塊相場の變動によりて市價を左右せられ然り且つ産地在荷も内地桐の如くに品薄を感じ居らざるため其昂騰率は内地桐に比し比較的低率なりしに休戰以來暫らくは需要家一般に先安を見越し市價保合の狀態にありしも今春來内地桐の市價愈々昂騰し其餘波を受けたると一方支那排日のため出廻減少し市場品薄となり且銀塊相場の昂騰を來したるとにより市價再び漸騰し目下支那桐市價は本年六月頃に比し約三割位の騰貴を示し居れり市價依然品薄のため殆ど賣り手の唱へ相場の如き姿なりと而して内地桐も亦之に劣らざる昂騰を示し居れる由なるも果して之の好況は今後何時まで持續すべきかを疑問とし居れり(大阪)

人事消息

▲石塚俊氏(忠淸南道技師) 三日夜入城巴城館へ

▲飯尾平安北道知事 三日夜退城

▲五十嵐夏次郎氏(大阪朝日新聞記者)三日夜入城不知火へ

▲豐島秀吉氏(日本耐火煉瓦株式會社支配人)三日夜入城不知火へ

鳥瞰錄

米國では七月一日から陸

の通り禁酒を實行した夫れが爲め六月三十日の夜は何處のバーも群集で一杯▲酒屋の方では今夜限り商切つてしまうと酒家は今宵を限りに別れを惜しまうと飲むわ〳〵▲人をバーにする程醉つぱらひを生じたが十二時の時計を合圖と共に正しく閉もつて飲み度い連中も節制を重んじて歸途に就いた爲め何等の事故をも生じなかつたさうだ▲是れだけなら米國の爲め敬意を表するが若し夫れホテルに泊つたら最後遺憾なく米國氣質が現はれて吹き出たくなる『▲ボーイ白葡萄はないか』と聞くと『葡萄酒ム御座いませんが夫に似よつた物があつたやうに存じます』で□下り今度は代つたボーイがなみ〳〵とコップに何か注いで來る▲飲むと瀞くべし純然たる白葡萄酒である▲コクテルを註文すると矢張同じ筆法の酒はないが珈琲があると云つてコクテルを持つて來る到底禁酒の實行は不可能と見ねる▲禁酒が實施されてから一月つゝ立たずに淡い酒なら可からうビール丈けは禁酒令から除外仕樣うぢやないかと運動するらのが增加し今や是が全米國の輿論らんとしつゝあるさうだ▲酒から思ひ出た西田帥團長の諡だが龍山陸軍を代表する酒戰の强者であるいつも日の暮から蒼く暮ゆく漢江を臨んではチビ〳〵盃を舐めるが何でも斯うものならイザ一杯と勸めて退却を許さない▲或る時の如きは▲若し同趣味の友が尋ねて來夜を徹する迄飲み明かし二番鷄の聲に『オヤ今夜は頻りに夜鳴をするぞ』と山鹿流の太鼓を叩く格耳傾け女中を顧みると哀れや女中は眠さうな眼をこすつて『へね、もう疾つくに夜が明けましこ』

▽コレラ豫防に
京城本町警察署衞生課より數萬の御買上を賜りたる効力偉大なる
朝鮮總督府衞生課及

衞生無害

京城大特約店
新井大藥房、山岸大藥房
木村大藥房、淺野大藥房
東洋賣藥會社製造販賣部
京城本町四丁目電車終点
川浪濟生堂藥局
電話一三五八番・振替京城四〇〇番

▲御自他の爲め此季を逸せず御使用あれ
▲僞物あり商標と製造所に御注意を乞ふ
▲各地藥店雜貨店にあり品切の際は本舖又は左記大特約店に御注文を乞ふ
▲御試用分入用の方は拾五錢切手封入御申越次第送呈す

朝鮮及滿洲

多事なる朝鮮の時局を知らんとする者は本誌を讀め
總督初め新當局者の意見と面影を知らんとする者は本誌を讀め
十月號(第百拾號)定價一冊金四拾錢 一ケ年前金稅共金五圓

▼國旗問題を如何に解決せんとするか……釋尾旭邦
◎歐洲民族の地理的發展(其二)……山崎直方
◎最近の世界思潮……小川琢治
◎巴里會議の一班……野村大將
◎新領土統治策……古賀廉造
◎朝鮮人の反省を促す……釋尾旭邦
國旗不掲揚問題
長谷濃部鮮銀總裁 渡邊高等法院長 國分法務局長 工藤武城 朝倉辯護士 大久保辯護士 某官 憲歟古城 菅某
◎產業振興策(朝鮮銀行副總裁) ◎朝鮮青年基督教(平出)
◎海運界の前途(松崎朝二郎) ◎太陽の斑點と氣候(和田雄治)
▲朝鮮の現在を語りて當局者に問ふ……釋尾旭邦
◎東京通信……久保博士 ◎巴里の秋……阿弗利加探險ランパス博士 飛魚漁郎
▲朝鮮の現狀一樣觀……一記者
▲新總監及新政務總監と語る……釋尾旭邦
▲新局長連訪問記……一記者
▲新來の奧樣訪問記(南滿沿線より大連安東縣まで北滿の旅) 一記者
◎小說 無情……東雲郞
▲文藝……▲滿鮮問答……▲滿鮮……▲內鮮比較……
發行所 京城南山町一丁目 電話一〇五〇番 朝鮮及滿洲社 振替京城一一一二番

奇談 文藝倶樂部增刊 怪談
びつくり競べ

口繪 小櫻大夫の外全身美人數葉
講談 鬼ケ島鰐退治 柴田馨
講談 大工の死相 寶井馬琴
講談 那須野の鬼姫 如川振
情話 斬つた人 田村西男
情話 二度三度 武山鷺城
情話 見棄供養 岡鬼太郎
落語 戀の妙藥 春風亭柳枝
講談 豐島屋怪談 猫遊軒伯知
講談 半面斑の古狸 小金井蘆洲
情話 白面鬼 瀬戸閣太郎
講談 きのふの味方今日の敵 錦城齋典山
講談 不動の劍を吞む 一龍齋貞山
落語 吃驚源兵衛 三遊亭金馬
講談 泥棒酒屋 大島伯鶴
人情噺 花婿の怨 神田伯山
落語 尼寺の狐 橘家花圓
講談 觀音樣の御利益 神田伯山
情話 砂に吸はる淚 生田葵
戯作 びつくり信濃路 森暁紅
雜錄 大イカモノ・ひやあせ會見物・情話小品お絹さん
定價四拾五錢 稅二錢半
東京市本石町 博文館

長男記政儀病氣之處養生不相叶本日死去致候葬儀は四日午後四時長沙洞妙心寺に於て相營み候間此段謹告候也
大正八年十月三日
秀島昂
親戚一同

母しか儀病氣の處養生不相叶三日午前六時死去致候間此段謹告候也追て葬儀は五日午後二時途中葬列を廢し山手町金剛寺に於て執行可仕候御香奠御供花は御斷り申上候
十月三日
男 倉田敏助
親戚一同
友人一同

九月下旬氣象概況 …を持續せり從つて本旬に於る雨量は…

…の季節の變調著しく…例年の局部的の驟雨を催せる所あるも旬中概して良好なる天氣…中の地は其一部にも達せず又北…濕は前旬と略同じく各地二五度…東岸及び西岸中部地方は雨量皆…内外を示し本旬の二七度を旬中…

比律賓觀光團一行

（前列向つて右より）農務副長サモーラ氏、リンハツプ氏令嬢、下院議長オスメニヤ氏、トーレス中佐夫人、リンハツプ氏夫人、農務卿アバシーブル氏（後列右より）トーレス中佐、霎震ナチビダド氏、リンハツプ氏令嬢、書記官長サモーラ氏

避暑地投票二等當選地
海雲臺温泉 (1)
海を控へて眺望の美を擅まゝに 東萊に遊ぶ者は必ず此地へ

東萊温泉を知る人は大抵海雲臺温泉を知らないものはない。それは東萊から自動車で二十分餘りを費せば行けるほどの距離にあるからである。又一つには東萊が温泉場としての設備が完全して居るに拘らず

四圍の眺望 は甚だ貧しくこれに引換て海雲臺温泉は海を控へて眺望の美を擅にして居るので東萊に遊んだ人は殆んど御定りのやうに海雲臺を訪れる。殊に夏期に於て然りである。獨り東萊に遊ぶ客が海雲臺に道寄りをするばかりであるならば、海雲臺の價値を推して知るべしであるが海雲臺は決して東萊の奥行きや附けたりとして見るべきではない！

然かく貧弱 な所ではない！海雲臺の名は避暑地を選ぶ人たちには既によく知られて居る所である。本社が避暑地投票を募集した當時から海雲臺の當選を豫想した人が最も多くを占めて居たに相違ない。そして投票の結果が二等に當選したことも亦當然である。單に現在のまゝの避暑地としては一等當選の[illegible]と其順位を顚倒して然るべきであつたかも知れない。然し

投票の結果 が必ずしも其價値を左右するものでないことは勿論である

到る處厚い友誼に感泣し
日本を模範の國
…下院議長外十名、繪の國… …詩の國と賞め稱へる婦人連…
さきんこ喜んで歸る……比律賓觀光團

比律賓下院議長一行の觀光團が内地から入城の途を水原驛まで出迎へた記者は一行の奈何にも規律正しく紳士らしく貴婦人らしい態度に憧憬させられた、團長は下院議長オスメニヤ氏が勤め一行中の男は農務卿アバシーブル氏、同防軍中佐トーレス氏、農務副長サモーラ氏、商リンハツプ氏、下院書記官長兼秘書官サモーラ氏、霎震ナチビダト氏の六氏で婦人側は麥藁帽の同中佐夫人、鍔廣な帽子に輕快な服裝の[illegible]何れも氣の利いた

背廣姿の中にて 一人トーレス中佐がカーキ色の平服を合せた軍服姿が眼につく、リンハツプ氏夫人と花の様な其令嬢三人は嬌艶かと美しく輝いて居た、秘書官サモーラ氏を通じて團長格の下院議長に先づ握手を需めると年齡四十前後の日本人かと思はれる温好な無髯の紳士は

ニコやかな笑み をたゝへて驛頭出迎への好意を謝し扨て語る『私共一行が日本に著いたのは一箇月程前でした今度の旅行は非公式の眞の觀光に過ぎないのに日本官民の身に餘る歡迎はお禮の言葉もありません、東京では原首相初め各大臣各要路並に人民の代表者にも會見しました、東京商業會議所三井男澁澤男からも招待を受けました

日光や箱根奈良 部等の名勝も見ましたが日本は噂にきいたよりも好いお國で總てが積極的で文明の程度も吾々の豫期以上です殊に風景の絶佳なのと國民性の典雅とは驚くべきものがないでせう、今回の旅行は充分觀光の餘日がなく思ふやうに日本を研究出來なかつたのは遺憾ですが夫れでも

日本國民が勤勉 にして向上に努力しつゝあるのは吾々の模範とすべき事と思ひました。京城には二日間滯在、大連天津北京を經て上海からマニラへ歸る豫定ですが本月末の議會開會迄に

歸らねばならぬ ので緩々觀光して居られぬのが殘念に思ひます』一行は口を極めて日本人の文情に厚きを感謝し日本の美を稱へて居た、サモーラ氏の如きは日本に住居したいと言ひトーレス中佐夫人は日本キモノの優美に憧れて居た三人の若い令嬢達は日本は繪のやうな詩の國だと夢見るやうな眼付で語つて居た

便利になつた
市外通話
市内の通話を切つて接續が出來る

十月一日から改正された電話規則で市外通話が非常に便利になつた、今迄は遠距離の相手を呼出しても

通話輻輳 や話中で通話が甚だしく遲延して困る場合があつたが今度は市内通話中でも市外通話の申し込があれば直に夫を切つて市外に接續される事になつた右に就いて眼部京城局長は語る『今度改正規則第四十七條に長距離通話又は市外通話二回線以上を接續して通話を爲さんとする場合請求加入者又は被呼加入者が同一加入區域内（卽ち市内）に在る加入者と通話中の時は

之を切斷 して市外の方へ接續しても宜しいと云ふ事が規定されたのである、之は今日の如く通話輻輳の際は頗る必要の事で通話者に取つても局當事者に取つても便利である、今後は右の場合には其通話に際し交換手から『長距離からですから、お切り下さい』と通知して切斷し市外からの分へ接續する事に改めたから御承知が願ひたい』

通話料を 前納して相手方を待つ規定であつたが十月一日から先づ呼出料を納付して相手が出たら通話料を納附する事に改まつたので小錢を持つてゐないと通話料納附に面喰ひ終に通話が出來ないと云ふ場合もあるから之も注意が肝要である猶聞く所による從前公衆が郵便局所に來て市外電話呼出を請求する時は呼出料の外に

改正後の電車收入
眞の影響はまだ判らぬ

本月一日より實施せる京城電氣會社の電車收入状況を聞くに一日は恰も始政記念休日とて終日相當人出ありたれば現金收入二千七百圓切符收入六百十餘圓合計三千三百十餘圓の總收入ありて之を從前の成績に比するに殆ど附き所謂物日收入としては稍良好の成績なりしも翌二日は俄然

收入低下 を示し卽ち全く平常に復したるものにして詳細なる數字は目下調査中なるも要するに値上後に於ける一般乘客の模様を觀るに其多くは孰れも値上以前の切符を使用し現に支拂はれつゝあるが如く未回收切符總額に就ては詳細なる數字の據るべきものなし、雖も從來一日の發賣高は約一千圓なるより打算せば約千圓の未收等あるべく殊に

京城通過歸國の途に就ける
セミヨノフ軍の軍事囑託員 パラノーフ氏は語る

セミヨノフ夫人一行を出迎への爲め過日來釜山に滯在中なりしセミヨノフ軍事囑託員ウエー、エン、パラーノフ氏は二日夜夫人一行と共に京城通過北行せるが氏は車中に於て往訪の記者に語る

『釜山には約二週間前から出張して夫人一行の歸りを待つて居りましたが其間恰も戰利潜五號潜水艦が入港しましたので

特に觀覽 を御願ひしましたところ快よく願を許され艦長から御懇切な説明を承はり私として實に光榮と存じて居る次第です。潜水艦を見て感じたとは一二ではありませんが戰利潜水艦をあくまで自在に操る日本海軍の技倆には全く感服の外はありません。尙私は在釜中は[illegible]泉が西伯利にあつたらなど、勝手に考へた程でした。あんな温泉が實に結構でした。

東萊温泉 にも遊びました、在釜中は陸海軍人を始め官民各位から御見知りを願ひましたが何誰からも大變親切にして頂いて此通り記念撮影も澤山ありますと欣快に堪へざるもの、如く記者に寫眞を示し『和服が大變似合ますね』と寫眞中同氏の和服姿を

和服姿を 指せば『左様でせうか』と微笑しつゝ握手を求め盛に日露親善を力説せり

戰利潜水艦を自由に操る
日本海軍の技倆に感服

正金、商品券などを持參 呉服店では有難く思はぬ
一變した嫁入著物

婚禮月が近づくのに斯う云ふ服類その他嫁入道具が高くなつては全く困ら親達が多いことは先頃も記して置いたが玄人筋の話を聞くと『如何にも御支度が變つて來ました』といふ以前の

嫁入荷物 と云へばあらゆる著物から調度を有るか上から揃へ度がつたもの、今はそれに反して三枚より一枚で氣の利いたものゝみ選ぶようになつた、これによつて物が高いから數を少くして粒を揃へるとに變つて來たとが明かである

貴金屬類 でも好い加減なダイヤ入りの指輪を三つ買つて限りに二百圓宛で六百圓とすれば寧ろ四五百圓で一つ大きなのを買つて濟ませて置くといふ寸法になつたのである、又一時に多數の衣裳を揃へても一時に著られるものでないそれよりも

入用の際 に調製する方が徳用だし、この高い時節にはて、作ることもあるまいと衣裳代りに現金又は商品券を贈物の中に入れて行く花嫁様も若干出來て來た、さうかと思へば

七千五百の
爆發藥
密輸入した漁夫檢擧さる

去る二十八日夜十二時頃釜山南濱埠頭附近に繫留せる一隻の汽船の行動怪しき點あるより之を搜査せるに右船にはビール箱五個棚行李三個外二個に詰たるダイナマイト約七千五百個導火線二千九百尺雷管四千五百個を發見せり右は香川縣人當時慶南欲知島に住める池田勝三郎（三〇）が大阪より密輸入せんものにて之を釜山西町魚商愛媛縣人阿部十次郎（四）を仲介者とし幸町金物商柴安一（三七）に千五百圓にて賣る契約をなし陸揚せんとする際檢擧せられたるものなるが尚連累者ある見込にて引續き嚴探中（釜山特電）

不馴より生ずる不便は

時市井補…勝氏の結果電車切符を剩錢に使用する者多ければ全部の回收も容易ならざるべしと觀測さ人又相互の當分止むを得ざることゝ雖も是は何れ乘客職員相互の經驗に依りて防止せらるべく會社は火急實施の事とて用意の不充分なる點多々あれども近く切符鋏も到着すべく又車線も漸次改善を加ふべき豫定なりと

緩衝機
投書歡迎

國旗掲揚に就て
忠告生

生は始政記念日たる京城市内の状況を視察すべく主たる市街を散歩した、稍意なる事があつたに拘らず、到る處平穩無事なりしは愉快であつたが唯一つ不可解の事實を認めた、そは本町通の各商店が恰も申合せた如く國旗を掲揚せざることである、何故に此記念日に國旗を掲揚して祝意を表せぬであらうか、これが不可解である、い ふ迄もなく本町通りは内地人紳商連の集合地である、内地人一流の紳商は皆此街に居を占めて居るが此等一流の紳商達が始政記念日に於ても遲れ占住者としては最も記念すべき日出度い日を忘れて御座ることは驚ろくの外はない、生の視察せし所によれば本町通りに國旗を掲揚せしは雜貨、木村、三の各商店と其他は二三の小売店のみであつた、是れ奈何なる現象であらう、れる外はない、京城市民中鮮人側商賈が以來國祭日に國旗を掲揚せざるやうになつたことは不都合千萬の所以であつて、心あるものは大に憤慨して居るのであるが京城の紳商達は之を何と見るか、此等不穩の所爲を爲さんと欲せば宜しく先づ内地人側が率先して國旗掲揚を勵行し漸次彼等を指導するより外はないと思ふ、紳商諸君よ、諸君の一舉一動は善惡共に他に影響する所大なるものがある須らく三省せらるべし

青年の教育
正義生

殖民地は活動地にして修學地に非ずとは一部論者流の持論なるが如し且つ純近鮮人有力者の間にも朝鮮を以て殖民地に非ず内地人の移民事業を中止せよとの希望がある、吾人は是等の説に反して…に及ばず朝鮮に於て國民教育機關の斯く不完備なるは遺憾とする所であつて…青年者教育の設備を完成する一日も速かならんことを望む

虎疫六千を超ゆ
日に三百名の新患者

總督府衛生課の調査に依れば全鮮に於ける虎疫患者は十月二日迄の累計六千四百四人にして内地人百一名鮮人六千二百九十二人支那人十一人、内死亡三千三百七十四人に達し日々發生の新患者は三百名を前後し居れり

表の唐織 に二千圓を

まぬ贅澤な註文もないとは限らない一方では盛んに金をかける人のお仕度もある、福禧…一しきりの如く如何に高價であるかを競ひたがる嗜好も…入り又は其他の資石貨玉を嵌めた丸帶、綴模様など物々しい好みは減少してよしや高價でも

迚い好み が流行つて來た『要するにお支度が以前に比して縮つて來たのです、吳服類は高くなつてもかういふお支度が多くなつては我れ〳〵同業はあまり有難くない譯で――』と語つてゐた

四對零にて滿鐵勝つ
野球戰
釜山に於ける

釜山日報主催滿鐵俱軍對全釜山軍野球戰は三日午後三時より大正公園に於いて擧行せられたり當日は朝來天候、兎角勝れざりしも觀覽者は正午頃より續々大正公園に集まり午後一時半滿俱の選手は自動車を連ねて到着直ちに兩軍共猛烈なる練習を行ひ三時愈々決戰に入るも双方共よく奮鬪したるが結局四對零にて滿俱の勝利に歸したり因に滿俱一行は三日夜出港連絡船にて東上せり（釜山特電）

金浦の虎疫
又一名發生

金浦郡々内面番地不詳の洪(鐵)■（六七）は一日虎疫と診定さる是にて同郡の患者は初發以來六名に達したるが内二名は死亡したり

佛教大運動會
兒童數百の旗行列

五日（日曜日）午前九時より本派願寺京城佛教婦人會並に京城佛教日曜學校聯合主催の下に南山公園運動場に於て秋季大運動會を擧行する由なるが是に先だち數百の愛らしき兒童は旗行列を試み市中を練り廻る筈

蛤洞のボヤ
去る三十日午前九時十分頃府内蛤洞四十六番地元德仁方より發火したるも直ちに發見通報出所詰巡査が馳け附け附近の者を指揮し消防に力めし結果大事に至らずして同九時三十分頃鎭火したり原因は炊事中火勢の一部を燒却し…

郵便局員は大助り
執務時間の短縮で

郵便事務受附時間短縮は十月一日より實行されたるが…

將棋虎廼卷（八）
渡邊六段必至の妙味 勝負の駒の働きを研究せよ 本社囑託 淸呂木六段述

將棋の…待駒及び縛り手の將棋を研究致しましたが此法に缺けぬお話をしたが是れ等の縛り手を利用して敵にかける事でありますが、此の縛り手を利用して…一手すきくに攻めて終りに詰まで至らしめるのを

必至と稱 するので詰將棋と共に練習すべき要件で之には大變な妙手があります。故六段渡瀨莊次郎氏は此必至に妙味を得て作を世に渡瀬の必至と稱して名高いものです。

卜達の道 は稱々雜多にありますが夫々の駒に就ての働き方をよく研究し實戰の時に無意味に手を下さぬ習慣を養ふこと…

實戰の上 に顯はれて効果ある事は疑ひありません…

…いふ點によく注目し怠らぬやうにしたならば追々其味がわかつて參ります。又高段の棋士が對局の際に手駒を什麼に打つか什麼活動させるかといふ事も必要…

琵琶演奏會
五弦琵琶家元…旭鶴水…琵琶教授所開設し…四日（土曜日）午後六時三十分より明治町…に於て…

鎌田氏母堂
本町…鎌田氏母堂しか子は病氣の處三日朝…永眠せり

庭球優勝戰

來る廿四日擧行京龍試合及び京城南北戰に出場せざりし各庭球團體の優勝戰を擧行すべく二日夜體育協會にて協議の結果左の如く決定したり

▲期日 十月廿四日
▲出場團體 一チーム三組とす
▲出場資格 京龍戰京城南北戰に出場せざりし團體、希望團體は十一日迄に出場人名を協會に申込むべし
▲申込所 商業銀行内森、中央試驗所諸岡

演藝
▲大正館 三日より映畫左の如し

…『[illegible]』▲東歐情話劇『銀翼』…第一等の榮冠を得たるアニタ…天然色作品『明烏夢泡雪』…

商業登記
株式會社 …大正八年九月…京城地方法院開城支廳

京城地方法院平山出張所

京日案内
一回前金七十錢…

◎鮮語科 英語科 …京城…學校

◎萬黑燒商 南大門學校裏 小松商會

◎東亞株式店 有價證券現物賣買 京城黄金町二丁目 電話二四〇三（受電トヌトカ）

◎柳行李革鞄專門 京城本町三丁目 但馬屋 長電話二四八二

◎外勤社員募集 及 内勤金入用 …帝國生命保險會社京城支店

◎女中至急入用 夫婦二人のみの世活なり 京城黄金町一ノ八五 電話八五七

◎ほねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

◎弟子入用 十三歳より十七歳マデ 京城黄金町二丁目 金光堂金工…

◎植字解版工募集 志望者ハ履歷書携帶來社アレ …朝鮮印刷株式會社

◎店員入用 龍山龍江通八 島田忠作

◎牛乳配達人入用 京城蓬萊町四ノ六七 東亞牧場（電話五二一番）

◎特居と電話架設 六七參番 北村友一郎

◎御袴專門 京城本町四 山崎袴店

◎電話賣物

◎骨董熱心高價買入 是非御賣を乞ふ …

ゲンノショウコエキス
主治効能 ◎急性下痢 ◎慢性下痢 ◎胃腸加答兒 ◎食傷 ◎小便 ◎胃腸の障害より起る下痢症 ◎疲勞の恢復 ◎時候あたり
斯有効なるが故に家庭の常備薬として是非此エキスを備へ置かれたし、又常に少量を用ゆれば腸胃を健全ならしむ
時に缺く可からざる腸胃薬なり 故に赤痢コレラ等の流行
定價 十日分六十錢 廿日分壹圓十錢 一ケ月分壹圓六十錢 四日分貳圓… 百日分四圓五十錢
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）

優等清酒 賀茂鶴
醸造元 廣島縣西條町 賀茂鶴酒造株式會社
發賣元 京城府鍾路公平洞 河野酒店 電話二〇八番
特約店 龍山元町二丁目 松屋商店 電話六六一番

軍馬參拾壹頭拂下
右希望者ハ印鑑携帶左記日時場所ニ出頭スベシ
十月八日午後一時 龍山仁憲兵分隊ニテ 九頭
同九日午後一時 驛州憲兵分隊ニテ 七頭
同十日午前十時 議政府憲兵分駐所ニテ
同十一日午後一時 開城憲兵分隊ニテ 五頭
京城憲兵隊

福井の白羽二重各種
大巾一尺 七十錢より一圓四十錢迄 見本進呈
▲白鹽瀬 ▲白絹紗縮緬 御紋付地各種
直輸入販賣 京城本町參丁目 玉屋支店 電話一七五一番

周易家相 岡村介石 京城明治町二丁目

▲支店長及支部經營者募集
月俸初給四拾五圓以上百圓マデ 純益月額八拾圓以上確實
一、支店長ハ各道ニ適合スル資格ヲ要ス…
二、…
三、…
四、…
◎希望者ハ自筆ノ履歷書ヲ持參… 花柳病專門 ドラッグ商會監督部 京城黄金町三丁目 電話（監督部專用）二八三三（營業部用）一六九七

古本と古樂器買入 京城本町 ウツボヤ

ぜんそく湯
ぜんそくに醫師も妙藥がないので一時押へに注射など致しますが根本的には何の効果もありません此ぜんそく湯は和漢藥中の効驗最も的確なるもので而も何等の副作用なく如何なる病症にも即効があり連續服用する時は病根自ら根絶します
◎藥價 各五十錢・一圓廿錢・二圓五十錢・五圓 ◎送料十二錢・海外四十五錢……（各藥店にあり）
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園（電話小石川二九六・振替東京一〇〇三二）

高値 四、… 安値 … 止め …

みだれ咲き

第百六十四回　島山碧波作　森田久畫

見知らぬ美人の爲めに幽閉されて居たのを助け出された操子は、自動車で兩國驛の近くへ運ばれた後、久し振りに懷しき母親に逢つたもの丶、前後の樣子を考へると、どうしても腑に落ちないと思へぬところがある。現在自分を助け出した其の人は、此の日午後に花の家の女將と共に恐ろしい事を云つて自分に迫つて居る、夫ばかりではない其の美人は自分を巧に誘拐した次郎吉の娘と云ふのであるから、流石の操子も、今斯うして旅館の座敷で母親に逢つて居るのは現實でないと思つた。

『夢だわ……確かに夢に違ひない』

夢であるなら久に覺めぬやうにと祈つた彼の女は、今しもお伊代が自動車の運轉手牧野に向つて總ての説明をするやうにと云ふと。

『矢ッ張り現實なのかしら』

彼の女は牧野の口からどんな事實が語り出されるかと思つて居る。

『お嬢樣、此處に居ります二人の内で一人は無御存知でありませう、此の二人が貴女を始め龍雄樣に恐ろしい事を加へた人であつたのです然しながら今晩貴女を救けに行つたお花さんが前非を悔いて次郎吉さんを諫止したのでございます』

次郎吉老人の娘お花は、河合子爵の令孃蓮子と僞つて汽車稼ぎをして居ることや、お花のお供をした井口が、山中子爵の夫人朝子とは戀仲であるのが判つた爲め、お運が返り忠をした顚末を始め、弟の龍雄は現在では一階堂家に引取られて子爵の歸京を待つて居ることを落ちも無く告げると。

『まア……』

操子は自分姉弟が、恐ろしい運命に弄ばれて居たのを知り初めは開いた口が塞がらないのであつた。

『お孃樣……』

操子の前に兩手を突いた次郎吉は悔悟の色を面に浮かべながら。

『定めし、私達を憎い奴と思召すでせうが、御前樣が東京へお歸りになりますれば、娘と二人で何も彼も打ち毀して用富樣の惡企も行はれ無く致しますからどうぞ夫れまでは私達二人が憎い〳〵奴と思召しても此のまゝにしてお置き下さい。其代り高井の解決さへ附きますと私達は立派に其筋へ名乘つて出て法律の制裁を受けます』

彼等親子が最後の決心を語ると。

『よく左樣云ふお心になつて下さいました、私は貴郎方のなさつたことは決してお怨み申して居りません、夫は皆今度のお母ア樣の……』

と、語つたが後を口にしては父の恥になると氣が附き俄に口を噤んで言葉を改め。

『私は貴女にあの恐ろしい虎の樓家より助け出て頂いたことは一生を通じて忘れませんです』

操子はお運の前へ頭を下げたが次いでお伊代の方に面を向け

『貴女樣が弟をお助け下さいましたことを改めて私からお禮を申します』

『恐れ入ります、處で私は出過ぎたことを申すやうですが、貴女や、淸樣の此度の罪はどうぞ今夜の手柄で棒引にして上げて下さいまし、是れは私から特に奥樣を始めお嬢樣へお願ひ申します』

『あら何ですね、私達はモウ何とも思つて居りません、夫れよりもよくまあ此の子を盜み出して下さつたと感謝して居るのです』

と初江夫人が語つた時。

『あの飛鳥井さんと仰しやる方がお見えになりました』

二階に一時近くと云ふに、當家の執事飛鳥井老人の來訪を知らせて來た。

わた　旭商會

京城北米倉町

新龍山齒科醫院

新龍山三角地西へ入る　東京齒科醫學士　廣瀬文質

懸賞川柳（二）

劍花坊先生選

『秋の風』

褌もきたなくなつて秋の風　京城　猫早太

秋の風逗子も伊香保も人がへり　淸州　涼月

かゝり人の浴衣へ秋の風が吹き　芙江　二本椊

秋風相催して貴君素寒貧　蛤洞　助平

嫁の讒訴へ秋の風が吹く　仁川　松平坊

落ぶれた人を秋風訪ねて來　京城　[illegible]郎

成金も追々駄目な秋の風　平南　ニコ坊

（京日）紙上俳句會

＝出句發表＝

▲蜻蛉▼

夕燒の空血の如し飛蜻蛉

千網に殘る夕陽や飛蜻蛉

學童や池畔に騷ぐ蜻蛉釣

鮮蔬野に一圓の蜻蛉釣

垣に殘る落日の陽や黑蜻蛉

落日の一時か群れ飛ぶ蜻蛉

水先に蜻蛉にされて渡し舟

蜻蛉や竿に追はれて南禪寺

年間へば片手出しけり蜻蛉釣

夕照りの空に剛なし赤蜻蛉

蛛の巣に蜻蛉の屍や水車尻

糸の附きし蜻蛉騒しき障子哉

蜻蛉つり破れ垣くゞる歩みかな

あはしなみ亂し蜻蛉飛ぶ

百尺の竿頭つかむ蜻蛉哉

船艘草南に去りて蜻蛉飛ぶ

天井の高きに遊ぶ蜻蛉哉

蜻蛉飛ぶ大往處の門違哉

蜻蛉に後ふり向きて別離哉

からたちの立穗に赤き蜻蛉哉

棟ぶ子を涼めて飛べる蜻蛉哉

蜻蛉々々蜻蛉と子を呼ぶ子

幾多の村見とる釣れる蜻蛉哉

赤蜻蛉すい〳〵渡る池夕べ

額の角にまさ〳〵て蜻蛉後しさる

命日さきづいてはなす赤蜻蛉

蜻蛉も日暮に存むか藪の蚊な

[illegible]も蜻蛉つり

夕立さ見るやあわてる赤蜻蛉

はれ釣瓶の釣瓶井す蜻蛉哉

血散るかに夕空赤し飛ぶ蜻蛉

蜻蛉すだく雨閃めき時ろ千潟

日ゆるみに溺れ餌や飛ぶ蜻蛉

手入れして庭や蜻蛉に枝少な

蜘蛛の巣とひたせ目守りし赤蜻蛉

五七三張りし獄殺田や赤蜻蛉

惡疫退散の新幟されり蜻蛉飛ぶ

軍人の武を練る空地や赤蜻蛉

蜻蛉や舟水す河の抗の上

架橋人夫皆獄役蜻蛉多き村

道聞けば答ふるも土語蜻蛉釣

風なぎに小波立つゐ水蜻蛉

蜻蛉釣に釣られて後返ふ乙女哉

竿に來て暫し憩へる蜻蛉哉

赤い日を背にたか〳〵蜻蛉哉

浮標に凝る睡に蜻蛉睡きぬ

ハタと打つ斬手空しく蜻蛉哉

時化晴れの天紺碧に蜻蛉かな

廢廟の門の朱濃さよ蜻蛉飛ぶ

支那町や埃の中に蜻蛉飛ぶ

驛の宿馬出挽つて蜻蛉飛ぶ

蜻蛉や疲れし旅の笠の上

蜻蛉釣るお深い水や小波打つ

蜻蛉に日落ちて京の一路哉

人あらぬ寺院の甍み蜻蛉哉

蜻蛉の丘に立ち夕日の台影にのぶ

破蜻蛉追ひまくすて帶に夕月淡し

秋晴れや物干す屋根を蜻蛉哉

堂守の子は終日を蜻蛉釣

王蜻蛉夕映の野を領しけり

蜻蛉や砂丘に潮の迫り來つ

釣下手の又逃げて泣く蜻蛉哉

蜻蛉の干飯覗くや竿の端

枯葉の上な無心の蜻蛉哉

子の墓の上な蜻蛉の行き戻り

攻花の種子干す窓や飛ぶ蜻蛉

岩影に汐待つ船や赤蜻蛉

蚊を追うてつばめ返しの夕蜻蛉

進化の世蜻蛉の運ぶ手紙哉

[illegible]蜻蛉にかゝつて標榜哉

一年の冬を知らずに蜻蛉哉

赤蜻蛉板移す午後の庭

芦渡る風微々にして飛ぶ蜻蛉

富士颪波よく晴れし日や蜻蛉飛ぶ

蜻蛉よ汝が羽根に似し頭の人

竿上の蜻蛉を的に石打つ子

蜻蛉取る子無心の中に巧者あり

頭風や葉裏に蜻蛉翔かざる

やんま已が影にしらく水澄めり

強風に止りかねたる蜻蛉哉

暮れ惜む空に飛び交ふ蜻蛉哉

蜻蛉釣後き學童の遲刻哉

蜻蛉釣母は祇園の茶参り

又もとの叉銃に來り赤蜻蛉

迷ひ來て障子に騒ぐ蜻蛉哉

逃れた蜻蛉の行方や高き日章旗

旗は晴風見矢南赤蜻蛉

いち歩路に飜る蜻蛉のビビと飛ぶ

蜻蛉や座して草喰む牛の背

驟馬が挽く臼手に一ぞう蜻蛉哉

驛頭の一きさわ淋し赤蜻蛉

錐杖の笠にとまりし蜻蛉哉

雨後の夕照空一つなの蜻蛉哉

彼岸前に蜻蛉指ゐ日傘かな

牛の荷を風に追ひ行く蜻蛉哉

濁れ帆干す濱の日和や赤蜻蛉

流れ瀧瀬も渡し場や飛ぶ蜻蛉

厄日前雲低く蜻蛉急ぐなり

谿流の提淋ごして蜻蛉飛ぶ

忠魂の碑に伏してけり秋津蟲

廢い池の浮藻を友の蜻蛉哉

抱き飼子見とも見せ云ひ赤蜻蛉

蜻蛉や練兵終り筒の先

雨晴れや水にすれ〳〵飛ぶ蜻蛉

赤蜻蛉群り飛ぶや梭艑村

化銀杏伐る沙汰止みて蜻蛉高々と

語りつゝ腰下す先き蜻蛉飛ぶ

蜻蛉や濱の家々投網干す

高荷積んで戻り來る馬車や飛ぶ蜻蛉

蜻蛉飛ぶ土堤と水かゝる騎武者哉

釣外れし蜻蛉は背田渡りけり

大時化のあと靜かなり飛ぶ蜻蛉

蜻蛉や鐵道踏査の旗印

蓮池を往きつ戻りつ蜻蛉哉

洗濯の興に尾打つ蜻蛉哉

砂利遊ぶ行人の頭上飛ぶ蜻蛉

玩具散る庭靜まりて蜻蛉來し

蜻蛉や田畑の作り色めきし

今脱いだ笠に馴染む蜻蛉哉

蜻蛉來て魚市場覗く日午かな

古寺の池めぐりけり蜻蛉つり

投石の後追ひ行けり蜻蛉哉

子の愛に引かれて蜻蛉探し出る

チゲ眠るチョンマゲ上に蜻蛉哉

水澄めるよしに蜻蛉の羽たゝみけり

窓ガラス蜻蛉の主の騒ぎけり

夕立の跡や靜かに蜻蛉飛ぶ

一廻りして又止まる蜻蛉哉

何處迄も資金に縋し赤蜻蛉

蜻蛉や三寳供ふ餅の上

茜さす空を舞ひ飛ぶ蜻蛉哉

蜻蛉や夕日の下に鋤を研ぐ

蜻蛉や落日潮を彩りて

硝子戸に飛行機描く蜻蛉かな

甥張りの背や蜻蛉の一つ紋

築城の樓の影や秋津蟲

廣うなる版圖の富饒蜻蛉哉

魚釣の浮標を翻る蜻蛉哉

蜻蛉や丘上靜かに夕日足

野に遊び蜻蛉宮生に停にけり

甚參すや寺は學校蜻蛉つり

稻滿に登りて生る白蜻蛉

柔の葉にさかり蜻蛉の[illegible]

自轉車を待ちつゝ闘ふ蜻蛉哉

蜻蛉や銀杏も低き日本晴

詩に歌につきぬ哀れや秋津蟲

旭の御旗抱く蜻蛉の姿かな

陽の色に吸はれ行く岡の蜻蛉

獨居の室に蜻蛉大にやつれたり

蜻蛉高く白布乾く家根の上

天高き平和の空や飛ぶ蜻蛉

川蜻蛉釣りに倦みにし竿の先

釣竿の糸にたわむる蜻蛉かな

蜻蛉や花屋に積んだ薪の山

行く人を避けて蜻蛉面に飛ぶ

蜻蛉や痩馬驅く市の中

[illegible]に立つ蜻蛉猶大仰す

蜻蛉や落窓一望の新開地

山姿浮く大湖淸さや飛ぶ蜻蛉

遠山は霧の雨降る蜻蛉かな

蜻蛉や漢王城を繞る

蜻蛉や夕映淡き雨後の庭

東蜻蛉流石雄しき飛行振り

朝霧に翅重げなる蜻蛉かな

讀みさしの雜誌にとまる蜻蛉哉

赤蜻蛉逃がして後はけんかかな

蜻蛉釣今日も蜻蛉に釣られ鳧

稻掛に日は斜なり赤蜻蛉

紅葉燒く朝の煙や赤蜻蛉

赤蜻蛉海の果見で歸りけり

蜻蛉釣り夕燒頭の稚戀し

夕燒に船燒く煙や赤さんぼ

日斜に干潟を射るや赤さんぼ

初蜻蛉思案に暮れし梓の端

雨はれし夕陽の影や赤さんぼ

靜けさや蜻蛉の抱く旗かしら

物騷な流れ廻や川蜻蛉

朝夕や野山の蜻蛉人馴るゝ

風を呑負つて輝く國や秋津蟲

蜻蛉の逃げて呆然惡太郎

サイルソンと捕へ飛ばず赤蜻蛉

蜻蛉や日和に減せる羽の艶み

風に千す麥の耳にさんぼかな

夕影淋しき蜻蛉さんでをり

[illegible]

子供眠さうに見る窓の蜻蛉

蓮池に竿の届かぬ蜻蛉かな

赤蜻蛉居は住ぼうつき居からし

牛に鞍置けば來て乘る蜻蛉哉

太鼓蟲時日に變る蜻蛉

雨にも干棹にトンボ二ツ三ツ

蜻蛉釣歸りや遲し秋のくれ

校庭の木馬つ蜻蛉飛び交へり

蝸張の紺に西陽の蜻蛉かな

猫の眼のハシャギや赤蜻蛉

昔日中黄黑のさんぽ軒を過ぐ

蜻蛉の遠くは去らぬ宿の杖

靜けくも狹間を飛ぶや夕蜻蛉

野に眼立つ腹痛術に蜻蛉かな

釣糸の浮に宿ためらふ蜻蛉哉

夕日さす千本杭や赤蜻蛉

蜻蛉や草を苅る子の思ひ足

洪水崎の砂波立てり赤蜻蛉

蜻蛉釣に萎色の迫る河原かな

悠々と潮水を渡る蜻蛉かな

出水後の田晴れてあり赤蜻蛉

羽根せ飛ぶ大蜻蛉に路に在り

潮滿ちて杭の蜻蛉や立つ

張物す妻の頭や赤蜻蛉

飛んで來る伴翮天窓や蜻蛉釣

殺天に不前苛風や赤蜻蛉

日蔭洲に[illegible]蜻蛉追ふ

通路[illegible]の流れ夕燒と飛ぶ蜻蛉

蜻蛉さて緋葉に見られ身は迫る

峠道や一夜明しの蜻蛉かな

草の戸を洩れてさす日や赤蜻蛉

雨晴れや何な蜻蛉の行つ來つ

名刹の庭に群る丶や赤トンボ

神橋の擬寶珠に眠る蜻蛉かな

夕日吸ふ風なき川や蜻蛉飛ぶ

釣人の獸々として蜻蛉竿の先き

水盤計に洪水引く晴や飛ぶ蜻蛉

江畔々蜻蛉輕う土堤を離るゝ

城内の小萩靜かや秋津蟲

夕陽を浴びてコスモス寺の蜻蛉哉

遠山には草なびきて蜻蛉飛ぶ

蜻蛉取る兒等の集ひや原野中

瓦斯や蜻蛉の狂ふ空高き

網を干す瀬戸の小家や赤蜻蛉

赤蜻蛉畑鋤く鍬の後や先

古垣の繩の粘目や赤蜻蛉

朝寒や蜻蛉寂ひし露の道

引潮に舟の早さや飛ぶ蜻蛉

上げ汐に蜻蛉逐はれて戻り鳧

三本の釣竿に蜻蛉の三つかな

半島や日本晴して飛ぶ蜻蛉

蜻蛉やコクリコクリと馱馬の旅

兒の墓に赤き蜻蛉のとまり鳧

靜かなる池に蜻蛉の波紋かな

赤蜻蛉飛びつ頻りに水搏てり

蜻蛉の姿みや尻尾輪造りて

細々と樹影纏る淵や飛ぶ蜻蛉

飛ぶ蜻蛉埃み血り吹く唐狂癖せ

釣竿を上るたび飛ぶ蜻蛉かな

川口の帆桁に多き蜻蛉かな

世は進み蜻蛉捕る子はなかり鳧

草の實の剝れて驚く蜻蛉かな

れむる牛角に蜻蛉の止りけり

◎十二大家小品書畫會　東京麴町元園町中央美術協會にては今回十二大家小品書畫會を催し[illegible]組合の一會費を以て[illegible]希望者は至急申込めば明細規定書を送る由

新刊紹介

▲家庭パン造り方（指原乙子著）東京女子割烹學校長の著者が苦心の末、燒麺其他よりパン種の製法及びパン屋兼用の菓子料理等を説明したる總假名付の平易簡明なる者なり（四十錢、東京神田表神保町　東京家政研究會）

▲詩林（二〇）　五拾錢　東京神田區紅梅町　詩林社

▲青年界（九）　拾參錢　東京市神田區三崎町　三青年社

▲建築新報（一の五）　四十錢　東京市外下戶塚五九五　社

▲風流夢倪抄（桑田春風編）　名家の面白き警句を集めたるもので、芭蕉、蕪村、山陽、抱一、茶山、蕪村、紀文等の古きものを初め、發文、紅葉、子規、鐵幹、小波、水蔭、其の他一代の名流と稱せられし人の警句何れも頗る趣味深く一讀面白きこと限りなし（五十錢、東京牛込樂町一の東亞堂）

裁縫糸・レース糸　其他附屬品製造卸　ビワコ屋糸店　京城北米倉町　電話五〇五番

▲私は製材に關する研究を致したく[illegible]其方法[illegible]御知らせ下さいませんか

（初めて生）▲九月二十八日正午[illegible]拾三圓六錢在處と外に[illegible]も入つて居りましたが中に[illegible]黑皮製の[illegible]お心當りの方は御届け下さる[illegible]

若くて一番別嬪な女は誰ですか[illegible]何樣の何と言ふ妓ですか知らして下さい（京城旭町一ノ三澤井舖）

▲右の投書を載せることは馬鹿々々しい譯ですが[illegible]の參考資料として[illegible]

（答）▲御質問の書籍發行所及び其名代等[illegible]存じの方は御教示を乞ふ

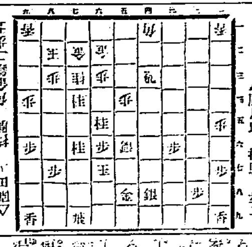
將棋新手合（其七）

淸呂木六段評

平手番　△釜山　國田　雙二段
先　▲京城　廣戶庄吉（初段）
（於京城若草町九七淸呂木將棊所）

圖は前號指了迄の局面

▲廣戶氏　持駒　歩二



百手二三香成　△同玉　▲七一玉　△六一桂ナル　▲同金　△同金（レ）　▲八四桂　△七三桂ナル　▲同金　△八五角　▲六七步　△六五桂　▲七二金　△八四步　▲七六金　△六三銀　▲七一金　△同銀　▲八六金　△六四步　▲八五金　△同角　▲八六步

（以下次號）

淸呂木六段講評　△（レ）同金は早し一旦七五桂と打ちて指方よろし

名藥紹介

引風とたんせきは廿錢でも治る

但し油斷したら大變！　つまり早いもの勝ち！

◆近頃上中流の家庭で非常に評判のよいセキドミンと云ふ藥は、宮田醫學博士と數氏の獨逸ドクトルが、多年共同研究の結果、合議して製劑した現今流行の惡症に胃を容易に撃退することができる痰咳感冒の良藥セキドミンが夫れである。

◆セキドミンと云ふ藥は、流石宮田要津の兩大家が苦心の劑であるだけ世間のありふれた藥とは全然異つて、主として良藥のみを配合し、之が小さな錠劑とした、せきどめ感冒藥としては珍しい新藥のものであり、殊に子供や藥嫌ひの人でも飲易く且服用量は少くして、非常に良い。

◆誰でも若し痰咳の爲に惱しく切れなかつたり、咽喉にたんがごろ〳〵したり、時候の變改に咳が出たり、或はたんせきの爲め咽喉が痛んだり、聲が嗄れたり、若しくば夜中に頻りと嗽が出たり、喘息や病後などに咳が出る時に急いで此セキドミンを服めば、極めて手がるに咳が止り、熱も解け、肺炎を始め感冒は快くなる。

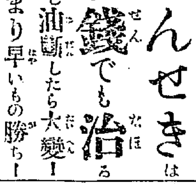
◆此藥は、試用二十錢、三十錢、七日分五十錢、徳用分一圓の四種がある、風邪だなと感じ、咳が出るなと思つた時には良藥セキドミンを服めば、容易に之れを撃退することが出來る、けれどもナアニ感冒くらゐなどと油斷して居たら最後、忽ち諸種の呼吸器病を續發し、氣管支加答兒、肺炎、肋膜炎となり、遂には終生不治の肺結核に罹つて、其病毒を子孫に傳へる樣になる。

◆此セキドミンの近頃非常に賣るのは、一ツには此用心の爲め家庭の常備藥として之れを買ひ置く客も少くないからと云ふ事であるが、成程購入となつて居る藥であるから、其栓を緊くしさへ置けば保存にも亦至極便利な藥である、殊に製法は他に類のない錠劑であるから服用に湯水も入らぬ旅行等の用心藥として携帶に便利である。

△各地の信用ある藥店で賣つて居る、奸商輩が類似の藥を賣り出して顧客を瞞着するから、殊にセキドミンと指定して買へば安全である。

本舖　東京銀座　大阪東區　中南定太郎藥房

小男も大男となる



伸長器の發明◉無料呈與　身長が低いと共に背が低いで一生の損が分らない。近時特許局の許可を受けた身長器は全身の骨の軟骨を伸長せしめ何人も高く程よく君の此の器を[illegible]御自宅へ發明の[illegible]ハガキで申込めば詳細を郵送す　東京日本橋區入船町　[illegible]療法所

京城に自動車講習所開設

▼十月十五日開始　▼二ヶ月卒業　▼學資金百十二圓前納すれば何人も入學が出來る

自動車業は[illegible]世界に於ける五十年成功の秘訣は職業の選擇にある、現今世界共通の技術にして而も收入多く且待遇のよいものは自動車運轉手の技術である[illegible]

教授の方法

は教科書に照して百般の學術的講議を進める次に運轉實習に移る[illegible]熟練なる教師が懇切に教授する[illegible]

規則

書は申込次第無代で進呈する、授業は毎月十五日を定め、第一回開始は十月十五日で卒業は二ヶ月である[illegible]

東京自動車學校　京城講習所　京城府黄金町三丁目角　振替口座京城七一八番

珍書

熱狂的歡迎　三見本入用ハ五錢切手五枚送付アレ　直ニ密送ス　櫻花堂

大阪東區上本町二丁目釣本構　電話東八五五番　吉田屋

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥　ミツワ雪の雫

定價　金四拾錢　内地以外は關税運賃を加ふ

主效　皮膚の蒼黒を淸潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚龜裂、皮膚皸裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀卵斑、肥瘡、痤瘡、毛瘡、湿疹、肩疹、粃糠疹、苔蘚、白癬に奏効す

本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、日常之を用ふれば肌膚に居る黴菌を殺し其の發育を抑へ、隨つて腐敗を防ぎ臭氣を消し、肌膚が强くなつたのを浴かして▲肌膚を柔軟に滑澤になし、肌膚から出る脂肪を除いて淸潔に麗しくし、肌膚を緊縮して緻密になし即ち肌理を細かにし、肌膚の乾燥を治し、皮脂や汗の餘分に出るのを制限し、肌膚を包み掩つて外から來る刺戟を避け▲肌膚の龜裂などを防ぎ、黴菌や塵物の入込むのを止め、尙肌膚の營養を旺盛にして健全な肌膚の新しく出來ることを促すから前に擧げてある諸種の皮膚病に良く效き肌膚を健強と淸潔にするのであります。又▲白粉を塗る前に肌膚をミツワ石鹸で洗つてから之を擦り込むやうに塗り暫く經つてから湯水で堅く搾つた手拭ひで抑へるやうに輕く拭き取りそれから白粉を塗るとのりものびもよく生々とした化粧が出來る肌膚になります

（現品縮寫圖）

芳香馥郁たる肌着香水オー・ド・フラール　ミツワ花の雫

定價　金四拾五錢　大壜金七拾錢　内地以外は關税運賃を加ふ

從來の家庭用香水には徒らに强烈なる香を放ち、手巾、衣服等に振掛くれば汚點を殘すものが多きに反し、ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘す憂ひなく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面盥浴槽等に用ふれば、淸涼の感を得ること本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり

（現品縮寫圖）

毛髮の營養料衛生香水ヘーヤ・ローション　ミツワ月の雫

定價　金五拾錢　大壜金八拾錢　内地以外は關税運賃を加ふ

優良なる品質を具し、毛髮の衞生に適するミツワ石鹸を以て毛髮を洗滌せる後此ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、又毛髮の害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、頭垢及び雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特効ある營養料なり。故に毛髮の衞生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の榮養料頭髮用香水なり

（現品縮寫圖）

贅澤で經濟で而して最も優良なハンカチーフ用　三百番香水

種類　ヴァ井オレット（すみれ）　ローズ（ばら）　リリー（ゆり）　ムゲット（花の名）　ミモサ（花の名）　ブーケー（花ばた）

定價　各種均一　小壜入……金五拾錢　中壜入……金壹圓五拾錢　大壜入……金貳圓五拾錢　内地以外は關税運賃を加ふ

三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つもので、香は人によつて嗜好を異にして居るから、六種の香を異にするものを發賣して、更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫である。一體普通香水は折角高價を拂つて求めても、香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は海に小瓶の見本を添へてあるので、お嗜好に合ふものが選べる便利がある。一體普通香水は容器の體裁を飾る爲に餘計に高價な物になる弊があるが、三百番香水は正味のみを目的として居るので、自然價格も無類の低廉なるものになつてゐる

尼崎汽船仁川出帆

○群山木浦下ノ關大阪行　赤城丸　一心丸　神代丸　秀吉丸　君が代丸　大有丸　十月[illegible]日午後四時出帆

○印は客扱　仁川海岸町二丁目　電話[illegible]　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

▲奉皇島行　第二共同丸　▲青島大連行　第十一共同丸　▲大連直行　第六共同丸　第三共同丸　十月[illegible]日

朝鮮鐵道主要驛にて荷客取扱　大連にて寄港行定期　阿波共同汽船株式會社　仁川代理店　本町四丁目　野口商店　元山代理店　京城取次店　河村運送店

日本郵船仁川出帆

大連、大沽、牛莊行　濟州丸　高砂丸　相模丸　十月[illegible]日正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話[illegible]

五光商會出帆廣告

◎元山、西湖、城津、淸津行　第三平安丸　◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三國運丸　十月[illegible]日

釜山　大池回漕部　元山　田口回漕店

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行　▲浦汐行　平安丸　京畿丸　越後丸　鏡城丸　雄基丸　▲大阪行　▲元山雄基線　▲關門行　▲金剛山遊覽便　▲濟州島行　▲多島海行　▲木浦行　▲大連行　十月[illegible]日

其他各寄港地ニ各取扱店

兌換券大膨脹　去月末金融狀況

大阪株式